

令和2年度

消防年報



小松島市消防本部

令和3年刊行

は し が き

この年報は、本市消防行政を広く一般に紹介するとともに、消防組織の運営と合理化を図るため今後の参考の資料として市消防現勢及び消防業務の内容、火災救急統計等を収録編さんいたしました。

本書の記載事項で特に示すもののほか、火災救急統計等は暦年として、予算関係事項については会計年度により集録しましたが、これによらないものについては、必要に応じ表右上に、年、月、日を示しました。

令和3年4月

小松島市消防本部

目 次

は し が き 主要項目一覧表

概 況

1. 小松島市消防の沿革	1
2. 自治体消防発足後の小松島市消防の沿革	2
3. 小松島市の市勢及び位置	8

総 務

1. 小松島市消防の組織	9
2. 消防本部・署・分団配置図	9
3. 歴代消防長名	10
4. 消防本部及び署の分掌事務	11
5. 現有消防力	13
6. 消防職員の定員及び実員配置状況	13
7. 消防職員の勤続年数	14
8. 消防職員の年令構成	14
9. 消防職員特殊技能資格取得者	15
10. 消防職員の居住状況	16
11. 消防職員の研修状況	16
12. 一般会計当初予算額に対する消防費の比較	17
13. 人口1人当たりの予算額	17
14. 消防職団員及び消防車に対する比較	17
15. 過去5カ年間の決算額と構成の推移	18
16. 条例規則整備状況	19

警 防

1. 消防ポンプ配置状況	20
2. 消防機械一覧表	20
3. 消防施設器具整備状況	22
4. 消防通信	25
(1) 通信網	25
(2) 無線機配置状況	25
(3) サイレン・スピーカーの設置場所	27
(4) サイレン消防信号	27
5. 地区別消防用水利配置状況図	28
6. 地区別消防用水利配置状況	29
7. 気象通報発表状況	30
8. 月別気象状況	31

予 防

1. 防火対象物一覧表	32
2. 中高層防火対象物一覧表	33
3. 甲種防火対象物防火管理者選任状況	34
4. 乙種防火対象物防火管理者選任状況	35
5. 用途別による消防用設備等設置状況	36
6. 建築同意統計状況	37

7. 築造別同意事務処理状況	38
8. 申請別同意事務処理状況	38
9. 各種届出状況	39
10. 危険物施設一覧表	39
11. 危険物関係各種事務処理状況	40
12. 危険物保安監督者を必要とする施設数	40
13. 倍数及び類別危険物施設状況	41
14. 消防手数料徴収状況	42
15. 防火クラブ結成状況	43
16. 自主防災組織結成状況	44
火 災	
1. 覚知別件数及び火災の実態	45
2. 地区別火災発生状況	46
3. 月別火災発生件数損害額	47
4. 用途別火災件数	48
5. 火災原因及び発生時間別件数	48
6. 火元・用途別・原因別火災件数	49
7. 週・時間別火災発生件数	50
8. 過去5カ年間火災状況	51
救 急 救 助	
1. 救急出場状況（事故種別・年齢別・覚知別）	52
2. 地区別救急事故発生件数	53
3. 事故発生時間状況（事故種別・曜日別）	54
4. 年齢性別状況	54
5. 搬送人員状況（曜日別・月別）	55
6. 年別応急手当普及啓発活動状況	56
7. 救助出動状況	56
8. 10年間の出動件数及び搬送人員	57
9. 5年間の救助活動状況	57
消 防 団	
1. 消防団設置状況	58
2. 消防団員の定員及び実員	58
3. 消防団員報酬及び費用弁償額	59
4. 消防団員等公務災害補償受給状況	59
5. 消防団員退職者数	59
6. 消防団員退職報償金受給状況	60
7. 歴代消防団長名	60
8. 分団別出動放水状況	61
9. 在職年数別消防団員数	62
10. 年齢別・階級別消防団員数	63

主 要 項 目 一 覧 表

小松島市消防本部（R2.1.1～R2.12.31 又はR3.4.1現在）

市 勢	人 口 ・ 世 帯	36,670 (人) 17,096 (世帯)
	面 積	45.3 (km ²)
気 象	平 均 気 温	年間18.4 (°C) (1月10.3 (°C) 8月30.0 (°C))
	降 雨 量	年間降雨量1331 (mm)
予 算	消 防 予 算	432,690 (千円)
組 織	署 所 数	消防本部 1 消防総務課 1 消防課 1 消防署 1 出張所等 0
	消 防 総 務 課	総務
	消 防 課	警防・予防
	消 防 署	調査・警防・救急・救助
	職 員 数	定員41 (人) 実員41 (人)
消 防 団	分 団 数	22ヶ分団
	分 団 地 区	川南、前原、芝生、金磯、田浦、田野、中郷、中田・江田
		日開野、新居見、川北、横須、立江、櫛淵、赤石、大林
		苅屋、和田島東、田北、目佐・大場、坂野、和田島西
団 員 数	定員443 (人) 実員410 (人)	
装 備	車 両 数	ポンプ車2水槽付消防ポンプ車1救急車2 (台)
		救助工作車1化学車1その他車両5 (台)
		屈折はしご付消防自動車1 (台)
		消防団消防ポンプ自動車12水槽付小型動力ポンプ付積載車5 (台)
		小型動力ポンプ付積載車4小型動力ポンプ積載車1 (台)
		救助資器材搭載車1 (台)
水 利	水 利 数	消火栓 (打込含) 939 (基) 防火水槽等137 (基)
防 災	避 難 所	広域避難場所8 (ヶ所) 指定避難所65 (ヶ所) 福祉避難所9 (ヶ所)
		避難建築物62 (ヶ所) 避難盛り土1 (ヶ所) 避難場所16 (ヶ所)
	倉 庫	水防用倉庫8 (棟)
	危 険 個 所	土石流58 (ヶ所) うち特別46 (ヶ所)
急傾斜149 (ヶ所) うち特別148 (ヶ所)		
地すべり2 (ヶ所)		
災 害	災 害 件 数	自然災害0 (件) (人的災害のあったもの)
	死 傷 者	死者0 (名) 負傷者0 (名) 要救助者0 (名)
火 災	火 災 件 数	火災7 (件) (うち建物火災5件)
	死 傷 者	死者0 (名) 負傷者1 (名)
	損 害 額	1,453 (千円)
救 急	出 場 件 数	1,706 (件)
	搬 送 件 数	1,563 (件)
救 助	出 場 件 数	9 (件)
	救 助 人 員	6 (名)
予 防	防 火 対 象 物	1,220 (ヶ所)
	防 火 ク ラ ブ	婦人防火クラブ2 (クラブ) 75 (名)
	消 防 ク ラ ブ	少年消防クラブ2 (クラブ) 102 (名)
		幼年消防クラブ11 (クラブ) 660 (名)
危 険 物	危 険 物 施 設	製造所0 (ヶ所) 貯蔵所112 (ヶ所) 取扱所 56 (ヶ所)
	安 全 協 会	59 (事業所)

1 小松島市消防の沿革

明治 元年 10月 江田村（現江田町）において有志の寄付により竜吐水1基購入魁組と称して火災の警防に従事したのに始まる。
その後各地域で消防組が設置され幾多の経過をたどり町村制実施後明治24年に至り小松島村においては警防条例が制定され次の通り改称された。

<旧>	<新>
小松島警防	警防第1番組
前原警防	警防第2番組
日開野警防	警防第3番組
田浦警防	警防第4番組
芝生警防	警防第5番組
田野警防	警防第6番組
魁 警防	警防第7番組
金磯新田警防	警防第8番組
新居見警防	警防第9番組
横須警防	警防第10番組

大正11年 11月 従来の10組を合し小松島町消防組と組織を変更した。

昭和 3年 9月 遼海丸火災消火の功により日本消防協会より金馬簾を授与さる。

昭和14年 4月 警防団令の公付により消防業務の外防空救護の業務を附加し町内を12分団に編成した。

昭和21年 2月 昭和7年ごろより横須地区に公設していた水上分団を小松島町警防第13分団として編入した。

昭和22年 9月 警防団を廃し消防団を編成した。

2 自治体消防発足後の小松島市消防の沿革

昭和22年	9月7日	庄野祐吉氏初代消防団長となる。
昭和23年	1月5日	4輪消防ポンプ自動車を町常備消防部に備える。
昭和23年	7月24日	小松島町消防署設置（定員12名）される。
昭和23年	9月7日	消防庁舎完成する。（小松島町字東出口3番地）
昭和24年	10月1日	次長藤田今蔵氏署長事務代行となる。
昭和25年	3月7日	小松島町消防団に対し日本消防協会より表彰旗授与される。
昭和26年	6月1日	隣接町村立江町合併小松島市制施行。 初代市長西岡喜平氏消防長兼務となる。 立江町消防団を小松島市消防団に編入する。
昭和26年	9月22日	海野政雄氏2代消防団長となる。
昭和27年	4月23日	元小松島警察署長楠川辰雄氏初代消防長兼消防署長となる。
昭和27年	6月10日	小松島警察署と警察消防相互応援協定締結する。
昭和27年	10月25日	伴弘氏3代消防団長となる。
昭和28年	4月1日	署庁舎の階上に消防本部事務室を増築設置なる。
昭和28年	10月15日	徳島市と隣接市町村消防相互応援協定締結する。
昭和28年	10月25日	第8回国民体育大会開催、天皇皇后両陛下下来市警備に当たる。
昭和30年	1月25日	朔哲雄氏4代消防団長となる。
昭和31年	9月30日	隣接町村坂野町合併坂野町消防団を小松島市消防団に編入する。
昭和33年	1月26日	南海丸遭難事故発生する。 消防本部は事故発生と同時に対策本部を岸壁に設置し4月3日遺体捜索打切り まで60余日献身的奉仕に務めた。 県知事並びに市長より感謝状を受ける。
昭和33年	7月25日	旧第17分団（田北地区） 旧第21分団（田北地区） } 合併第21分団として新編成発足する。
昭和33年	10月13日	水防協議会条例制定水防計画制定
昭和34年	1月26日	浜誠一郎氏5代消防団長となる。
昭和34年	2月1日	羽の浦町、那賀川町と隣接市町村消防相互応援協定締結なる。
昭和37年	4月1日	消防・水防業務統合する。 市土木課に所属していた水防業務を消防本部に統合する。
昭和37年	4月10日	旧第16分団（立江町赤石地区） 旧第24分団（坂野町赤石地区） } 合併第16分団として新編成発足する。
昭和37年	12月28日	消防審議会条例制定 防災会議条例制定
昭和38年	1月16日	防災会議委員任命
昭和38年	2月18日	小林甚四郎氏6代消防団長となる。
昭和38年	9月9日	消防審議会委員任命諮問第1号
昭和38年	10月12日	4輪消防ポンプ自動車購入する。
昭和39年	6月16日	西岡彬氏2代消防長兼消防署長となる。
昭和39年	10月16日	防災計画制定

昭和39年 11月21日 消防本部に指揮車配備する。

昭和39年 12月 6日 消防用SSB無線機設置免許を受ける。(基地局1 移動局1)

昭和40年 3月12日 消防審議会答申

昭和41年 3月 3日 小林甚四郎氏(前団長) 黄綬褒章授与される。

昭和41年 5月 4日 旧第8分団(江田地区) } 合併 第8分団として新編成発足する。
旧第10分団(中田地区)

昭和43年 3月 7日 自治体消防発足20周年記念式典において消防団に対し国家消防庁官より竿頭授を授与される。

昭和43年 3月31日 県消防補償等組合脱退する。

昭和43年 4月 1日 消防団員等公務災害補償等共済基金加入する。

昭和43年 3月12日 田浦第1第2特設分団合併統合なる。
田浦特設分団として新編成発足なる。

昭和43年 12月26日 市庁舎(消防庁舎を含む)落成式を行う。

昭和44年 7月14日 救急業務開始に伴う職員に対し県消防学校において救急専科教育受講す。

昭和44年 8月20日 救急車日本消防協会より寄贈される。

昭和44年 11月 1日 小松島海上保安部長と「船舶火災に関する業務協定」締結なる。

昭和44年 12月 3日 救急隊要員7名新規採用、県消防学校において救急専科教育受講す。

昭和44年 12月 5日 水そう付消防ポンプ自動車購入する。

昭和44年 12月24日 消防用VHF無線機設置免許基地局1、移動局1設置する。

昭和45年 1月 1日 救急業務開始する。

昭和45年 6月19日 消防用無線機SSBよりVHF無線機に切替え完了する。

昭和45年 10月20日 消防職員4名増員により31名となる。

昭和46年 3月 4日 消防本部消防団消防庁長官より表彰旗受章なる。

昭和46年 11月25日 ひさご婦人消防クラブ結成なる。

昭和47年 5月30日 4輪消防ポンプ自動車損害保険協会より寄贈される。

昭和48年 7月10日 まとい会発会なる。

昭和48年 7月10日 藤井守氏3代消防長となる。

昭和49年 3月13日 市内高層建築物の増加に伴う特殊火災に対処するため消防施設強化のため小松島市消防施設整備協力会が発足する。

昭和49年 7月 1日 消防広報車日本自転車振興会より寄贈される。

昭和49年 8月10日 消防職員5名増員され実員36名となる。

昭和49年 12月18日 田浦特設分団を廃止し、第5分団と統合する。

昭和50年 3月28日 屈折梯子付消防ポンプ車「まごころ」号市民有志寄付により購入する。

昭和50年 5月20日 江田特設分団東西統合なる。

昭和50年 7月25日 井内直行氏4代消防長となる。

昭和51年 3月31日 徳島県広域消防相互応援協定締結なる。

昭和51年 5月 1日 小松島市消防史完成(1,000部)配布する。

昭和51年 5月 8日 岡一嘉氏(元副団長) 勲六等単光旭日章受章なる。

昭和52年 3月 8日 小松島市危険物安全協会結成なる。

昭和52年 12月 1日 矢野政一氏5代消防長となる。

昭和53年 4月27日 小林甚四郎氏(団長) 県消防協会長に就任なる。

昭和53年 10月13日 防衛施設庁より基地周辺整備補助を得て化学消防自動車購入する。

昭和54年	3月31日	田野特設分団を廃止し6分団に統合する。
昭和54年	4月29日	佐々木源吉氏（元副団長）勲六等瑞宝章受章なる。
昭和54年	6月16日	救急車購入する。
昭和54年	8月1日	新居邦一氏6代消防長（心得）なる。
昭和54年	9月1日	徳島、小松島飛行場周辺における、航空事故に伴う災害時の連絡調整体制について徳島県と市町との間に協定を締結する。
昭和55年	3月3日	市少年、婦人防火委員会結成なる。
昭和55年	3月15日	和田島地区婦人防火クラブ、坂野少年消防クラブ、小松島少年防火クラブ結成なる。
昭和55年	5月15日	小林甚四郎氏（団長）勲四等旭日小綬章受章なる。
昭和55年	8月27日	救急車日本消防協会より寄贈される。
昭和56年	1月27日	ひさご婦人消防クラブ日本消防協会より小型動力ポンプ寄贈される。
昭和56年	5月20日	平瀬基氏7代消防団長となる。
昭和57年	4月1日	茨木茂氏7代消防長となる。
昭和57年	4月1日	消防団出動体制の合理化により5班編成を実施、併せてトーキー音源装置（火災問い合わせ20回線）設置する。
昭和57年	4月20日	火災専用電話録音装置を設置する。
昭和58年	2月25日	水そう付消防ポンプ自動車更新購入する。
昭和58年	4月11日	楠川辰雄氏（元消防長）勲五等瑞宝章従五位受章なる。
昭和58年	8月10日	消防団に防災車両が日本消防協会より寄贈される。
昭和58年	9月26日	4輪消防ポンプ自動車損保協会より寄贈される。
昭和58年	10月1日	出動体制の見直しにより、2班編成実施する。
昭和59年	2月8日	消防団に対し日本消防協会長より竿頭綬を授与される。
昭和59年	8月23日	緊急給水用濾水器を日本消防協会より寄贈される。
昭和59年	12月18日	松宮正昭氏8代消防団長となる。
昭和59年	12月21日	団条例一部改正により副団長の定員4名を2名とする。
昭和60年	5月28日	徳島県危険物安全協会連合会結成なり加入する。
昭和61年	2月1日	幼年消防クラブ結成（市内保育所）なる。
昭和61年	11月21日	防火広報車、日本消防協会より寄贈される。
昭和62年	4月1日	徳島市大原町小神子地区と救急業務応援協定締結する。
昭和62年	12月1日	幼年消防クラブ結成（市内5幼稚園）なる。
昭和63年	8月9日	救急車日本消防協会より寄贈される。
昭和63年	10月25日	小松島市消防40年のあゆみ発刊なる。
平成元年	3月23日	はしご付消防ポンプ自動車更新購入する。
平成元年	4月1日	赤岩勇氏8代消防長となる。
平成元年	12月1日	江田特設分団廃止なる。
平成2年	1月1日	消防長を消防監に昇格する。
平成2年	1月1日	消防署に救急係を置く。
平成2年	3月31日	サイレン等吹鳴装置設置する。周波数153.87MHZ四国電気通信監理局より交付なる。（親局1、子局26カ所）
平成2年	4月1日	日勤者について第2第4土曜日を閉庁とし、隔日勤務者の勤務時間を週平均46時間とする。

平成 3年 4月 1日 佐藤巖氏 9代消防長となる。

平成 3年 7月 1日 川西福男氏 10代消防長となる。

平成 3年 12月 1日 伊丹幸雄氏 11代消防長となる。

平成 4年 3月 27日 救急車自動車損保協会より寄贈される。

平成 4年 4月 1日 川西福男氏 12代消防長となる。

平成 4年 4月 1日 出動体制の見直しにより団の4班編成を実施する。

平成 4年 7月 1日 日勤者について土曜日を閉庁とし隔日勤務者の勤務時間を週平均40時間とする。

平成 4年 12月 18日 松富健次氏 9代消防団長となる。

平成 5年 4月 1日 田原利晴氏 13代消防長となる。

平成 5年 8月 9日 4輪消防ポンプ自動車(CD-1) 損保協会より寄贈される。

平成 5年 12月 27日 軽4輪トラック購入する。

平成 7年 1月 17日 1月17日午前5時46分兵庫県を中心に兵庫県南部地震が発生し、震災消防応援派遣隊として本市消防本部は消防職員延6名を派遣する。

平成 7年 3月 6日 川田道夫氏 10代消防団長となる。

平成 7年 4月 1日 堂本光雄氏 14代消防長となる。

平成 8年 2月 29日 水そう付消防ポンプ自動車購入する。

平成 8年 3月 27日 指令車日本消防協会より寄贈される。

平成 8年 10月 1日 小松島市と徳島市、鳴門市、阿南市との間において災害相互応援に関する協定を締結する。

平成 9年 3月 15日 救助工作車購入する。

平成 9年 5月 15日 川田道夫氏(団長) 徳島県消防協会副会長就任なる。

平成 9年 10月 1日 小松島市と徳島市外との間において管轄外通報の転送等に関する協定を締結した。

平成 10年 1月 28日 徳島県消防防災航空隊発足により徳島県消防防災ヘリコプター搭乗派遣職員に関する協定を締結し職員1名を徳島県へ派遣する。

平成 10年 3月 7日 小松島市消防団に対し日本消防協会長より表彰旗授与される。

平成 10年 4月 1日 徳島県市町村消防相互応援協定を締結する。
徳島県消防防災ヘリコプター応援協定を締結する。

平成 11年 4月 1日 津川昇一氏 15代消防長となる。

平成 12年 4月 1日 坂東昇氏 16代消防長となる。

平成 12年 4月 29日 松富健次氏(9代消防団長) 勲六等単光旭日章受章なる。

平成 12年 5月 22日 川田道夫氏(団長) 徳島県消防協会会長に就任なる。

平成 12年 5月 30日 川田道夫氏(団長) (財)日本消防協会副会長に就任なる。

平成 12年 11月 14日 高規格救急自動車購入する。

平成 13年 4月 1日 石原勉氏 17代消防長となる。

平成 13年 10月 18日 第15回全国女性消防操法大会に和田島女性消防隊が出場する。

平成 15年 3月 6日 藤枝悦郎氏(副団長) 消防庁長官表彰永年勤続功労章受章なる。

平成 15年 4月 1日 土橋秀行氏 18代消防長となる。

平成 15年 6月 1日 吉田茂氏 11代消防団長となる。

平成 16年 2月 19日 防衛施設庁より基地周辺整備補助を得て化学消防自動車更新する。

平成 16年 4月 1日 笹松敏重氏 19代消防長となる。

平成16年	4月 1日	消防団条例改正により入団条件を「40歳未満の男子」を「45歳未満の者」とし、定年年齢を「55歳」から「60歳」に引き上げる。また、各分団の定員は、「20人とする」を「20人を基準とする」に改正する。
平成17年	2月25日	平成16年10月18日に発生した台風23号による豪雨災害活動に際し、小松島市消防団に対し消防庁長官より褒状が授与される。
平成17年	3月 5日	吉田茂氏（団長）消防庁長官表彰永年勤続功労章受章なる。
平成17年	4月 1日	勤務体制が2交替制から3交替制へ移行となる。
平成17年	5月 1日	女性消防団員8名入団なる。
平成18年	3月 1日	荒木敏雄氏12代消防団長となる。
平成18年	4月 1日	井内章介氏20代消防長となる。
平成18年	10月29日	小松島市消防本部の南側に消防団本部詰所を併設する。
平成19年	2月 1日	防衛施設庁より基地周辺整備補助を得て高規格救急車更新する。
平成19年	3月 4日	荒木敏雄氏（団長）消防庁長官表彰永年勤続功労章受章なる。
平成19年	3月 7日	和田島地区婦人防火クラブ（財）日本防火協会より自治体消防60周年記念表彰受賞なる。
平成19年	6月 1日	荒木敏雄氏（団長）（財）日本消防協会副会長に就任なる。
平成19年	12月20日	川田道夫氏（10代消防団長）瑞宝単光章受章なる。
平成20年	4月 1日	木下崇廣氏21代消防長となる。 消防長の階級を司令長とする。 消防本部に消防課を置き、消防署の組織改正をする。
平成20年	4月17日	第1分団詰所落成式を行う。
平成20年	6月 1日	社会福祉法人和田島福祉かもめ保育園 小松島市消防団協力事業所表示制度認定事業所第1号となる。
平成20年	8月 1日	小松島市自主防災連合会結成なる。
平成21年	6月26日	軽4輪トラック更新する。
平成22年	2月25日	社会福祉法人和田島福祉かもめ保育園 総務省消防庁消防団協力事業所認定なる。 消防団等地域活動表彰受賞なる。
平成22年	3月 5日	窪田頼明氏（副団長）消防庁長官表彰永年勤続功労章受章なる。
平成22年	4月 1日	大和忠広氏22代消防長となる。 消防署の組織を改正し3係制となる。
平成22年	7月28日	CD-1型消防ポンプ自動車購入する。
平成23年	3月 9日	防災活動車が（財）日本消防協会より交付される。
平成23年	3月11日	3月11日午後2時46分三陸沖を中心に東北地方太平洋沖地震が発生し、本市消防本部は、緊急消防援助隊として消防職員5名を宮城県塩竈市へ派遣する。
平成23年	7月 1日	東とくしま農業協同組合、小松島市消防団協力事業所表示制度認定となる。
平成23年	10月19日	第20回全国女性消防操法大会に小松島市女性消防団が出場する。
平成23年	10月29日	近畿府県合同防災訓練緊急消防援助隊近畿ブロック合同訓練小松島市にて2日
	30日	間に渡り開催される。
平成24年	4月 1日	消防本部及び消防署の組織を改正し係制から担当制となる。
平成25年	3月 1日	窪田頼明氏13代消防団長となる。
平成25年	9月20日	資機材搬送用トラック購入する。

平成26年	1月19日	サイレン等吹鳴装置廃止し防災行政無線運用開始する。
平成26年	2月3日	位置情報通知システム運用開始する。
平成26年	3月19日	高規格救急自動車更新する。
平成26年	3月28日	水難救助用ボート一式購入する。
平成26年	3月29日	豊徳（株）、小松島市消防団協力事業所表示制度認定となる。
平成26年	3月30日	消防救急デジタル無線共通波運用開始する。
平成26年	3月31日	水難事故における応援協力に関する協定を小松島漁業協同組合及び和田島漁業協同組合と締結する。
平成27年	2月19日	第2分団詰所落成なる。
平成27年	3月31日	防衛省より施設周辺整備助成補助を得て水槽付消防ポンプ自動車更新する。
平成27年	4月1日	水難救助隊発足し、運用開始する。 市職員定数条例改正により、消防職員定数を5名増員し41名となる。
平成27年	9月9日	水防防災活動車購入する。
平成27年	9月10日	荒木敏雄氏（12代消防団長）瑞宝単光章受章なる。
平成27年	9月11日	新車庫及び市役所庁舎耐震化工事完了する。
平成27年	9月12日	小松島市消防団OB会発足する。
平成27年	9月13日	森新次郎氏（副団長）消防庁長官表彰永年勤続功労章受章なる。 森本政次氏（分団長）消防庁長官表彰永年勤続功労章受章なる。
平成28年	4月1日	西本和好氏23代消防長となる。 消防救急デジタル無線活動波整備完了し、運用開始する。 消防本部の組織を改正し、消防課、警防課2課体制となる。
平成28年	4月14日	4月14日21時26分熊本県と大分県を中心に熊本地震が発生し、本市消防本部は緊急消防援助隊として消防職員3名を熊本県阿蘇郡南阿蘇村へ派遣する。
平成28年	4月18日	屈折はしご付消防自動車購入する。
平成28年	12月1日	小松島市消防史（市制65周年記念誌）を発刊（700部）し、防災機関へ配布する。
平成28年	12月2日	総務省消防庁より、緊急消防援助隊設備整備補助金の交付を受け、救助工作車（Ⅱ型・バス型）更新する。
平成29年	4月1日	消防本部の組織を改正（課名変更）し、消防総務課、消防課となる。
平成30年	4月1日	勤務体制が3交替制から2交替制へ移行となる。
平成30年	4月1日	八幡將夫氏24代消防長となる。
平成30年	7月15日	平成30年7月豪雨に伴い、本市消防本部は、緊急消防援助隊として7月12日～7月28日の間、合計15名の消防職員を広島県安芸郡坂町小屋浦地区へ派遣する。
平成31年	3月27日	高規格救急自動車、（一財）日本自動車工業会より寄贈される。
令和元年	9月14日	第9分団詰所落成なる。
令和元年	10月1日	Net119緊急通報システム運用開始する。
令和3年	3月1日	日下直樹氏14代消防団長となる。
令和3年	4月1日	堀淵修治氏25代消防長となる。
令和3年	4月1日	消防団条例改正により、入団条件「45歳未満」を廃止し、併せて定年年齢を「65歳」に引き上げる。


3 小松島の市勢及び位置

安全・安心・信頼の こまつしま

徳島県東部の小松島市は、紀伊水道に面した国際港湾都市で、古くから海陸交通の要衝地、四国東部の海の玄関口として栄えてきた。四国・阪神間が、本四架橋、高速道路網で結ばれ、旅客、フェリー航路は廃止された現在においても、木材等を中心に国内はもとより、海外との輸出入も活発に行われている。


地勢は、北に日峰山、西に四国山系裾野の低い丘陵がまちを囲むように連なり、南は、那賀川流域平野へと開けている。また阿波の清流勝浦川が北西部を掠め、神田瀬川、芝生川が小松島平野を、立江川、太田川が坂野平野を形成している。

気候は、南国特有の温暖多雨であり、冬は一、二度の積雪を見る程度であり、夏秋には台風の来襲を幾度か受ける。特産物としては、ちりめん(いわしの稚魚の加工品)、わかめ、竹輪、筍、椎茸、みかん、水稻など自然の恩恵を受けた物が多い。



消防本部のシンボル

小松島市の市章（小松島の頭文字の「小」を錨で囲んだもの）の中央に消防のマークを入れ込んでいる。




市の木

ヤマモモ科の常緑高木、やせた土質でも無肥料、無農薬でも育てられる。

初夏には真紅の実を熟し、甘ずっぱい味覚で市民に親しまれており、古くから本市が県下有数の生産地である。

(昭和63. 2. 15制定)



市の花

ミズキ科の落葉小高木で、春には白、またはピンクの花を咲かせ、秋には深紅色に紅葉する。

小松島青年会議所が日米友好の象徴として、市内の公園や街路などに数多く植樹され、春には市民の日を楽しませてくれる。

(昭和63. 2. 15制定)

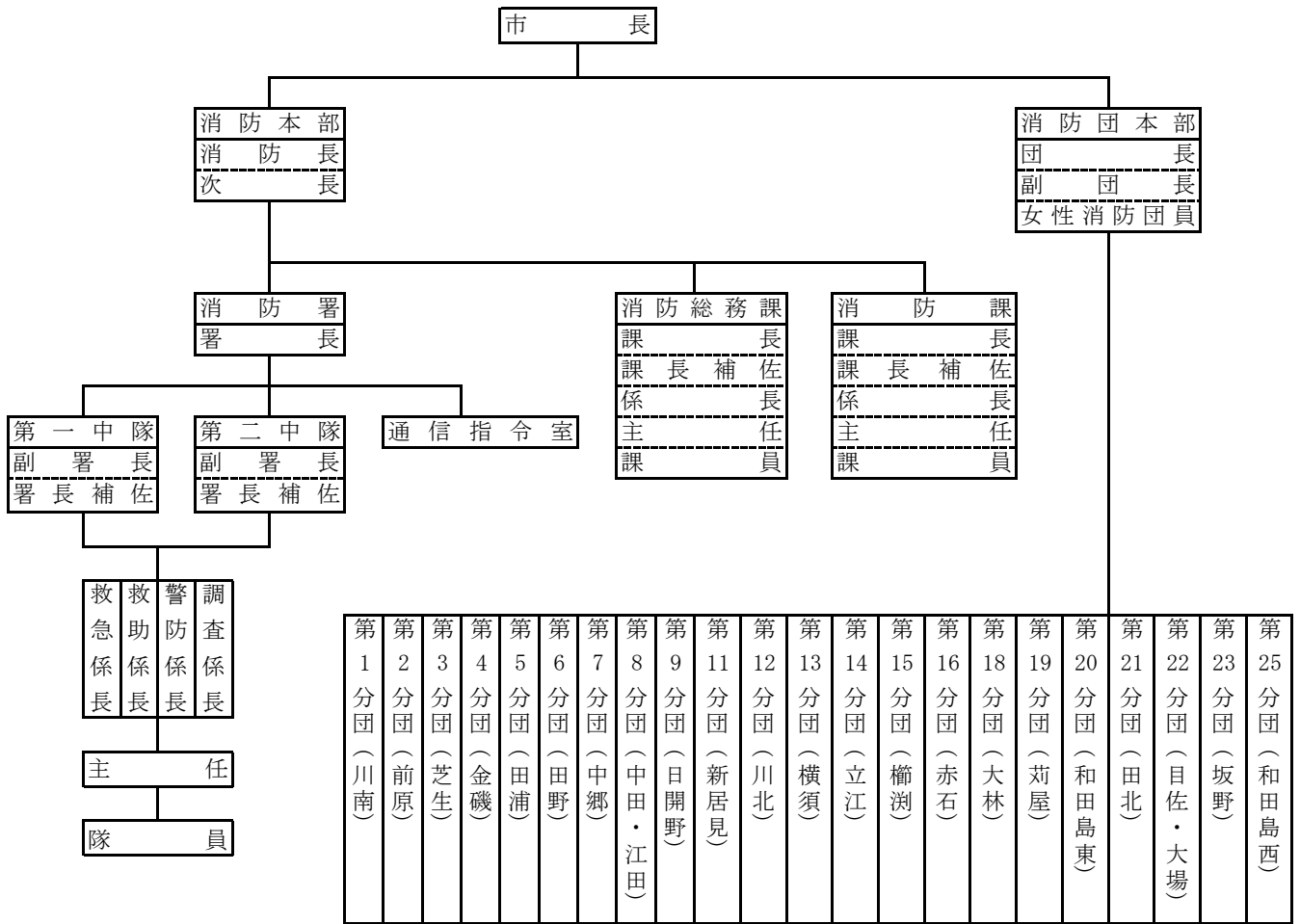


面積及び人口・世帯数（令和3年4月1日現在）

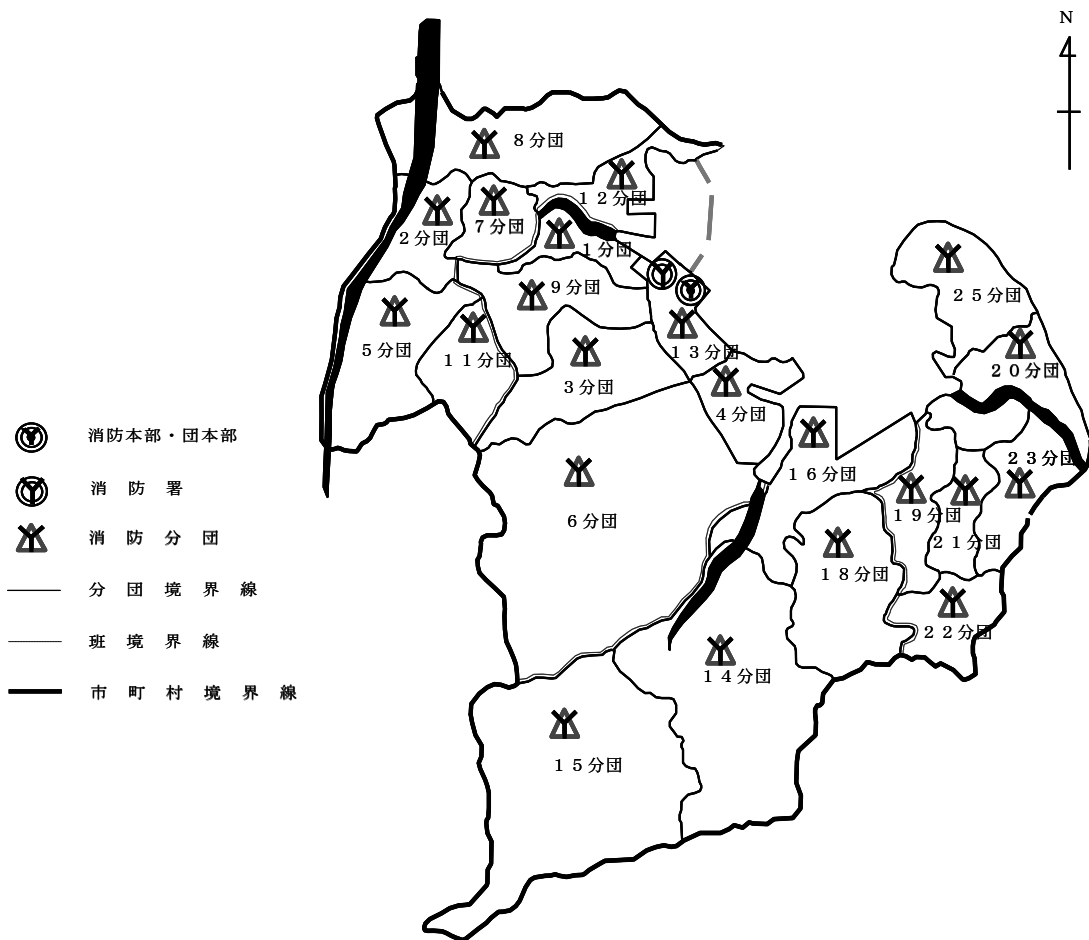
面積	人口	世帯数
45.3 km ²	36,670人	17,096戸

総務

1 小松島市消防の組織



2 消防本部・署・分団配置図



3 歴代消防長名

年代	在職期間	氏名
初代	自昭和27. 4. 23 至昭和39. 6. 15	楠川辰雄
二代	自昭和39. 6. 16 至昭和48. 7. 9	西岡 彬
三代	自昭和48. 7. 10 至昭和50. 7. 24	藤井 守
四代	自昭和50. 7. 25 至昭和52. 12. 1	井内直行
五代	自昭和52. 12. 1 至昭和54. 7. 31	矢野政一
六代	自昭和54. 8. 1 至昭和57. 3. 31	新居邦一
七代	自昭和57. 4. 1 至平成元. 3. 31	茨木 茂
八代	自平成元. 4. 1 至平成3. 3. 31	赤岩 勇
九代	自平成3. 4. 1 至平成3. 6. 30	佐藤 巖
十代	自平成3. 7. 1 至平成3. 11. 30	川西福男
十一代	自平成3. 12. 1 至平成4. 3. 31	伊丹幸雄
十二代	自平成4. 4. 1 至平成5. 3. 31	川西福男
十三代	自平成5. 4. 1 至平成7. 3. 31	田原利晴
十四代	自平成7. 4. 1 至平成11. 3. 31	堂本光雄
十五代	自平成11. 4. 1 至平成12. 3. 31	津川昇一
十六代	自平成12. 4. 1 至平成13. 3. 31	坂東 昇
十七代	自平成13. 4. 1 至平成15. 3. 31	石原 勉
十八代	自平成15. 4. 1 至平成16. 3. 31	土橋秀行
十九代	自平成16. 4. 1 至平成18. 3. 31	笹松敏重
二十代	自平成18. 4. 1 至平成20. 3. 31	井内章介
二十一代	自平成20. 4. 1 至平成22. 3. 31	木下崇廣
二十二代	自平成22. 4. 1 至平成28. 3. 31	大和忠広
二十三代	自平成28. 4. 1 至平成30. 3. 31	西本和好
二十四代	自平成30. 4. 1 至令和3. 4. 1	八幡將夫
二十五代	自令和3. 3. 31 至現 在	堀淵修治

4 消防本部及び署の分掌事務

消 防 本 部

(消防総務課)

- (1) 人事及び組織に関する事項
- (2) 消防予算経理に関する事項
- (3) 職員の教養訓練及び服務に関する事項
- (4) 職員の厚生福祉に関する事項
- (5) 公務災害補償に関する事項
- (6) 消防施設の営繕物品の保管に関する事項
- (7) 消防団及び消防団員に関する事項
- (8) 文書の収発に関する事項
- (9) 情報開示及び個人情報開示に関する事項（消防課の分掌事務に属するものを除く。）
- (10) その他、消防課の事務に属さない事項

(消 防 課)

- (1) 火災原因及び損害調査並びに報告に関する事項
- (2) 火災統計に関する事項
- (3) 防災計画の樹立に関する事項
- (4) 地水利の調査保全に関する事項
- (5) 警防計画に関する事項
- (6) 消防車両及び資機材等の整備計画に関する事項
- (7) 消防車両の安全運転管理に関する事項
- (8) 緊急消防援隊に関する事項
- (9) 警報の発令解除等消防気象に関する事項
- (10) 水防災害時の応急対策に関する事項
- (11) 救急救助に関する事項
- (12) 消防通信，指令に関する事項
- (13) 防火対象物の強制執行に関する事項
- (14) 危険物の許可，届出，検査に関する事項
- (15) 火災の予防指導，取締，立入検査等に関する事項
- (16) 林野火入許可に関する事項
- (17) 危険物の査察に関する事項
- (18) 建築物の同意に関する事項
- (19) 不法建築物の指導取締に関する事項
- (20) 仮設興業場に関する事項
- (21) 防災、ドクターヘリコプター及びドクターカーに関する事項
- (22) 罹災証明及び救急搬送証明に関する事項
- (23) メディカルコントロール体制に関する事項
- (24) 患者搬送事業に関する事項
- (25) 前各号の事務に属する情報開示及び個人情報開示に関する事項

(消 防 署)

- (1) 火災原因及び損害調査並びに報告に関すること。
- (2) 消防通信に関すること。
- (3) 火災予防の指導取締に関すること。
- (4) 火災警報に関すること。
- (5) 消防広報に関すること。
- (6) 危険物及び危険物施設の指導取締に関すること。
- (7) 建築物の指導取締に関すること。
- (8) 舟、車、船きよ又は、ふ頭に繫留された船舶及び附属建築物の火災予防、指導取締に関すること。
- (9) 仮設興行場に関すること。
- (10) 小松島市火災予防条例（昭和37年小松島市条例第10号。以下「条例」という。）第24条に定める空地及び空家の管理についての調査及び指導に関すること。
- (11) 条例第45条に規定する届出の受理及び調査に関すること。
- (12) 火災の警戒及び防ぎよに関すること。
- (13) 消防計画、訓練及び消防技術の研究指導に関すること。
- (14) 地水利の調査保全に関すること。
- (15) 消防団及び諸団体の消防訓練指導に関すること。
- (16) 防災計画に関すること。
- (17) 水害時の応急対策に関すること。
- (18) 水防倉庫の管理補修に関すること。
- (19) 防潮壁門扉の開閉に関すること。
- (20) 消防機械器具等の整備保全及び改善研究に関すること。
- (21) 消防団の機械器具の整備補修及びその計画に関すること。
- (22) 機関員の教育及び安全運転に関すること。
- (23) 消防燃料に関すること。
- (24) 救急救助活動に関すること。
- (25) 救急救助技術の訓練指導に関すること。
- (26) 救急救助資器材の整備保全及び改善研究に関すること。
- (27) 応急措置の普及及び指導に関すること。
- (28) 救急救助広報に関すること。
- (29) 救急医療機関との連絡に関すること。
- (30) 救急救助統計に関すること。

5 現有消防力

(令和3年4月1日現在)

区 分		常 備	非常備		
署所等		消防本部	1	消防団本部	1
		消防署	1	消防分団	22
消防車両等	屈折はしご付消防自動車	1			
	化学消防自動車	1			
	水槽付消防ポンプ自動車	1			
	消防ポンプ自動車	2		12	
	水槽付小型動力ポンプ付積載車			5	
	小型動力ポンプ付積載車			4	
	小型動力ポンプ積載車			1	
	救急車	2			
	指令車	1			
	防災活動車	1			
	救助工作車	1			
	防災車	2			
	中型トラック	1			
	救助資器材搭載車			1	
合 計		13		23	
人 員		定員	41人	定員	443人
		実員	41人	実員	410人

6 消防職員の実員配置状況

(令和3年4月1日現在)

階級別 区分	消 防 職 員							累 計
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	そ の 他	
実 員	1	7	3	9	9	12		41
消 防 本 部	1	1						2
消 防 総 務 課		1	(1)	1	1	4		7(1)
消 防 課		(1)	1		2	1		4(1)
消 防 署		5	2	8	6(2)	7(2)		28(4)

※ () 内は兼務

7 消防職員の勤続年数

(令和3年4月1日現在)

階級別 年数	消 防 職 員						
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
～ 4年						8	8
5年～ 9年					5	4	9
10年～14年				3	4		7
15年～19年			1	5			6
20年～24年		2	1	1			4
25年～29年		3	1				4
30年～34年	1	2					3
35年～							0
計	1	7	3	9	9	12	41
平均	32	27.3	23	15.2	9.3	2.9	13.4

8 消防職員の年齢構成

(令和3年4月1日現在)

階級別 年齢	消 防 職 員						
	消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	計
～ 24歳						6	6
25歳～29歳					1	4	5
30歳～34歳					6	2	8
35歳～39歳				6	2		8
40歳～44歳			2	2			4
45歳～49歳		3	1	1			5
50歳～54歳		2					2
55歳～60歳	1	2					3
計	1	7	3	9	9	12	41
平均	58	51.1	43.3	39.1	33.0	24.3	36.3

9 消防職員特殊技能資格取得者

(令和3年4月1日現在)

		階級		消 防 司 令 長	消 防 司 令	消 防 司 令 補	消 防 士 長	消 防 副 士 長	消 防 士	累 計
大型自動車2種					1		1			2
大型自動車					6	2	8	9	6	31
中型自動車(8t限定)				1		1				2
準中型自動車(5t限定)									2	2
普通自動車									4	4
大型特殊自動車							1			1
けん引					2		1			3
自動二輪	大型				4		2	2		8
	普通					3	1	1	4	9
	小型						1	1		2
陸上特殊無線技師	2級				1	2	8	9	8	28
	3級			1	1					2
アマチュア無線					4		3			7
予防技術資格	防火査察			1	2		2	3		8
	消防用設備			1	2		2	3		8
	危険物			1	1		2	2		6
危険物取扱者	甲種					1		1		2
	乙1	1		1	1				1	3
	乙2	2	1	1					1	3
	乙3	3							1	1
	乙4	4	1	5	2	5	2		1	16
	乙5	5							1	1
	乙6	6		1					1	2
消防設備士	甲	4								0
	乙1	1		1						1
	乙2	4					2			2
	乙6	6	1		2	2				5
救急救命士					4	2	6	3	2	17
特定行為	気管挿管				3	2	6	3	2	16
	静脈路確保				2	2	6	3	2	15
	ブドウ糖投与				1	2	6	3	2	14
	アドレナリン投与				4	2	6	3	2	17
救急課程修了者	標準課程				2	2	6	9	6	25
	II課程講習				2					2
	救急科			1						1
小型船舶操縦士1級							1			1
小型船舶操縦士2級					2	1	1	6		10
潜水士					5	3	9	9	9	35
小型クレーン					7	2	9	9	7	34
玉掛け					7	3	9	9	7	35
アセチレン溶接					4		1			5
酸素欠乏・硫化水素危険作業主任者					2		2			4
特定化学物質作業主任者							1			1
第1種衛生管理者				1			1		1	3
電気工事士					1		1		1	3
ボイラー2級					1					1
毒物劇物取扱責任者								1		1
計				11	81	33	112	91	71	

1 0 消防職員居住状況

(令和3年4月1日現在)

階級	地区																		
	赤石	横須	金磯	田野	芝生	日開野	田浦	江田	中田	中郷	立江	小松島	坂野	新居見	大林	和田島	間新田	管外	計
消防司令長												1							1
消防司令				1			1		1	1	1			1		1			7
消防司令補			1				1											1	3
消防士長		1			1	1					1					1	1	3	9
消防副士長			1					1	3			1						3	9
消防士	1		1									1	1		2	1	1	4	12
計	1	1	3	1	1	1	2	1	4	1	2	3	1	1	2	3	2	11	41

1 1 消防職員研修状況

区分		年度				
		28年	29年	30年	元年	2年
消防 大学 校	幹部研修科	1				
	警防科					
	予防科		1			
	救助科					
	実務講習等					
県 消 防 学 校	初任科	3	2		1	2
	警防科		2	2	2	3
	予防査察科	1		1		2
	火災調査科		2		2	
	救急科	3	1			2
	救助科	1		2		2
	特殊災害科	1		2		2
	通信指令課程					2
	初級幹部科		1		2	
	上級幹部科	1		1		2
	水難救助課程		2		2	
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡講習					
	応急手当指導員講習(Ⅰ)					
救急救命士養成課程	1	1	1	1		
計	12	12	9	10	17	

1 2 一般会計当初予算額に対する消防費の比率

(令和3年4月1日現在)

区分 年度別	一般会計予算額 (千円)	消防費予算額 (千円)	比 率 (%)
29	15,507,000	364,199	2.35
30	15,902,000	421,045	2.65
31	16,923,000	406,561	2.40
2	16,003,000	422,150	2.64
3	15,489,000	432,690	2.79

1 3 人口1人当りの予算額

(令和3年4月1日現在)

区分 年度別	消防費予算額 (千円)	人口 (人)	市民1人当りの消防費	
			常備消防費 (円)	非常備消防費 (円)
28	463,751	39,358	6,859	1,133
29	364,199	38,817	7,413	1,144
30	421,045	38,156	7,829	1,228
31	406,561	37,949	8,237	1,668
2	422,150	37,332	8,312	1,176
3	432,690	36,670	8,578	1,162

1 4 消防職団員及び消防車に対する比較

(令和3年4月1日現在)

		面 積 (km ²)	人 口 (人)	世 帯 数 (世帯数)	備 考
消防職員1人につき		1.10	894	417	職員数 41名
消防団員1人につき		0.11	89	42	団員数 410名
ポンプ1台につき	署	11.3	9,168	4,274	署ポンプ数 4台
	団	2.05	1,667	777	団ポンプ数 22台

15 過去5年間の決算額と構成の推移

摘要		年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
一般会計	(A) 決算額 (千円)		17,485,988	15,359,224	16,169,134	15,598,277	16,103,440
	人件費の構成比率 (%)		17.0	17.8	18.0	17.4	16.6
消防費	(B) 決算額 (千円)		630,457	675,657	391,105	437,141	429,861
	人件費の構成比率 (%)		44	41	76	68	68
消防費	(C) 基準財政需要額		553,022	534,999	534,716	535,157	535,157
消防費に係る各種構成比率	B/A (%)		3.6	4.4	2.4	2.8	2.7
	B/C (%)		114.0	126.3	73.1	81.7	80.3
市財政力指数	$\frac{\text{基準財政収入額}}{\text{基準財政需要額}}$		0.526	0.539	0.557	0.575	0.585
消防費の負担状況	人口 (人)		38,817	38,156	37,949	37,332	36,670
	1人当り (円)		16,242	17,708	10,306	11,710	11,722
	世帯数 (世帯)		17,143	17,079	17,118	17,048	17,096
	1世帯当り (円)		36,776	39,561	22,848	25,642	25,144
消防費の内訳	常備消防費 (千円)		271,474	277,813	298,914	303,689	301,601
	非常備消防費 (千円)		47,989	46,876	49,946	49,529	45,221
	消防施設整備費 (千円)		136,270	231,122	18,782	48,049	52,765
	防災対策費 (千円)		174,724	119,846	23,463	35,874	30,274

16 条例規則整備状況

小松島市防災会議条例
小松島市災害対策本部条例
消防本部設置条例
消防本部の組織に関する規則
消防署設置条例
消防署の組織に関する規程
消防審議会条例
消防本部事務決裁規程
消防公印規程
消防吏員の階級規則
消防職員服務規程
消防吏員被服等貸与規則
消防吏員服制規則
消防職員及び消防団員の訓練礼式に関する規則
消防賞じゅつ金及び殉職者特別賞じゅつ金条例
消防職員の勤務時間に関する規則
消防表彰規程
消防本部消防職員委員会に関する規則
消防救急業務に関する規則
消防警防規程
消防救急業務実施に関する規程
消防救助業務規程
消防火災調査規程
消防安全管理規程
消防広報規程
消防団条例
消防団規則
消防団員服制規則
消防団員等の公務災害補償に関する条例
消防団員等の公務災害補償に関する条例施行規則
消防団員等に係る損害補償の支給等に関する規則
消防団員等の公務災害補償に関する条例
第9条の2第1項の規則で定める金額を定める規則
消防団員等の公務災害補償に関する条例
第9条の2第1項第2号の規定に基づき身体障害者療護施設に準ずる施設を定める規則
非常勤消防団員に係る退職報償金の支給に関する規則
消防分団詰所新改築及び修繕費補助規則
火災予防条例
火災予防条例施行規則
火災予防違反処理規程
火災予防査察規程
消防法施行規則第4条の2の6第1項第9号の規定に基づく防火対象物の点検基準を定める規則
危険物規制の事務手続に関する規則
消防手数料条例
小松島市消防長及び消防署長の資格を定める条例

警

防

1 消 防 ポ ン プ 配 置 状 況

	種別	屈折はしご付消防自動車	化学消防自動車	水槽付消防ポンプ自動車	消防ポンプ自動車	水槽付小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ付積載車	小型動力ポンプ積載車	救急車	指令車	防災活動車	救助工作車	防災車	中型トラック	救助資器材搭載車	計
所属別																
消 防 署	1	1	1	2				2	1	1	1	2	1			13
消 防 団				12	5	4	1							1		23

2 消 防 機 械 一 覧 表

所属別	使用名称	種別	車名	年式	ポンプ (性能)
消防署	屈折はしご付消防自動車	大型四輪車 25m梯子	日野	H 2 8	
〃	水そう付消防ポンプ自動車	普通四輪車 1-A	日野	H 2 7	日本機械 (A-2)
〃	化学消防自動車	普通四輪車 I 型	三菱	H 1 6	モリタ (A-2)
〃	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 9	日本造機 (A-2)
〃	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	日野	H 2 2	小川ポンプ (A-1)
〃	救急車	普通四輪車 高規格	トヨタ	H 2 6	
〃	救急車	普通四輪車 高規格	ニッサン	H 3 1	
〃	救助工作車	大型四輪車 II 型	日野	H 2 9	
〃	指令車	普通四輪車	トヨタ	H 2 7	
〃	小型動力ポンプ			H 1 0	トーハツ (B-2)
〃	防災車	軽四輪車 トラック	三菱	H 5	
〃	防災車	軽四輪車 トラック	三菱	H 2 1	
〃	防災活動車	普通四輪車	ニッサン	H 2 3	
〃	中型トラック	普通四輪車 トラック	日野	H 2 5	
消防団本部	救助資器材搭載車	普通四輪車	いすゞ	H 2 2	シバウラ (B-2)

所属別	使用名称	種別	車名	年式	ポンプ(性能)
第1分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	いすゞ	R 2	モリタ (A-2)
第2分団	水槽付小型動力 ポンプ付積載車	普通四輪車	日野	H 2 7	ラビット (B-2)
第3分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 1 5	日本造機 (A-2)
第4分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	日野	H 3 0	小川ポンプ (A-2)
第5分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	日野	H 3 0	モリタ (A-2)
第6分団	水槽付小型動力 ポンプ付積載車	普通四輪車	日野	H 1 7	ラビット (B-2)
第7分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 1 0	モリタ (A-2)
第8分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 1 2	日本機械 (A-2)
第9分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 1 4	日本ドライケミカル (A-2)
第11分団	小型動力ポンプ付 積載車	普通四輪車	日野	H 2 6	ラビット (B-2)
第12分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 1 3	日本造機 (A-2)
第13分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 BD-1	トヨタ	H 1 2	日本ドライケミカル (A-2)
第14分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	トヨタ	R 1	モリタ (A-2)
第15分団	小型動力ポンプ 積載車	普通四輪車	トヨタ	H 2 2	ラビット (B-2)
第16分団	水槽付小型動力 ポンプ付積載車	普通四輪車	日野	H 2 1	ラビット (B-2)
第18分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	日野	H 2 8	日本機械 (A-2)
第19分団	水槽付小型動力 ポンプ付積載車	普通四輪車	日野	H 1 7	ラビット (B-2)
第20分団	小型動力ポンプ付 積載車	普通四輪車	日野	H 2 3	ラビット (B-2)
第21分団	小型動力ポンプ付 積載車	普通四輪車	日野	H 1 9	ラビット (B-2)
第22分団	小型動力ポンプ付 積載車	普通四輪車	日野	H 2 0	ラビット (B-2)
第23分団	消防ポンプ自動車	普通四輪車 CD-1	日野	H 2 9	モリタ (A-2)
第25分団	水槽付小型動力 ポンプ付積載車	普通四輪車	日野	H 2 4	ラビット (B-2)
備考					

3 消防施設器具整備状況

3-1 警防用資機材

資機材名称	個数
ジェットシューター	20
チェーンソー	1
エンジンカッター	2
耐熱防火服	4
布水槽 (0.5 t)	1
布水槽 (0.6 t)	2
布水槽 (1.5 t)	3
布水槽 (2.5 t)	1
オイルフェンス (20m)	6
三連梯子	2
金属製折りたたみ梯子	5

資機材名称	個数
万能おの	7
鉄線カッター	4
空気呼吸器	16
防塵マスク	53
防毒マスク	11
発電機	11
三脚	12
投光器	11
コードリール	9
野外移動煮炊釜	1

3-2-1 救助用資機材

資機材名称	個数
かぎ付梯子	1
三連梯子	1
空気式救助マット	1
救命索発射銃	1
救助用縛帯	6
油圧ジャッキ	3
油圧スプレッター	1
油圧切断機	3
可搬ウインチ	2
マンホール救助器具	1
マット型空気ジャッキ一式	2
エンジンカッター	2
ガソリン酸素溶断機	1
チェーンソー	1
鉄線カッター	2
ハンマー	1
安全マット	1
訓練用人形	1
削岩機	2
ハンマドリル	2
可燃性ガス測定器	2

資機材名称	個数
空気呼吸器	4
空気ボンベ	46
防毒マスク	3
防塵マスク	3
帯電手袋・長靴・ヘルメット	3
流水救助用救命胴衣	6
救命胴衣	49
小児用救命胴衣	9
救命浮環	7
スローバッグ	2
バスケット型担架	2
投光器	3
携帯拡声器	2
応急処置用セット	1
発電機	2
送排風機	2
都市型救助資器材一式	1
簡易画像探索機	1
個人携行型消火装備	1
化学防護服	9

3-2-2 潜水用資機材

資機材名称	個数
マスク	21
スノーケル	21
潜水用ヘルメット	20
フィン	11
ブーツ	21
ドライスーツ	9
ウェットスーツ(ワンピース)	4
ウェットスーツ(ツーピース)	16
フード付きベスト	14
ダイブコンピューター	3
ダイバーズウォッチ	8
BCジャケット	7
レギュレーター	7
オクトパスレギュレーター	7
トラスト3ゲージ	7
潜水用ボンベ	28

資機材名称	個数
水中ライト	21
水中ライト(ルーメンX6)	5
潜水用ナイフ	8
双眼鏡	2
国際信号A旗一式	2
マーカブイ(ペリカンフロート)	8
プラスチックブイ(36cm)	6
プラスチックブイ(30cm)	4
沈錘 20kg	6
マッシュルームアンカー	12
フローティング担架	1
バスケット担架(フローテーション付き)	1
訓練用人形	2

3-2-3 ボート、船外機

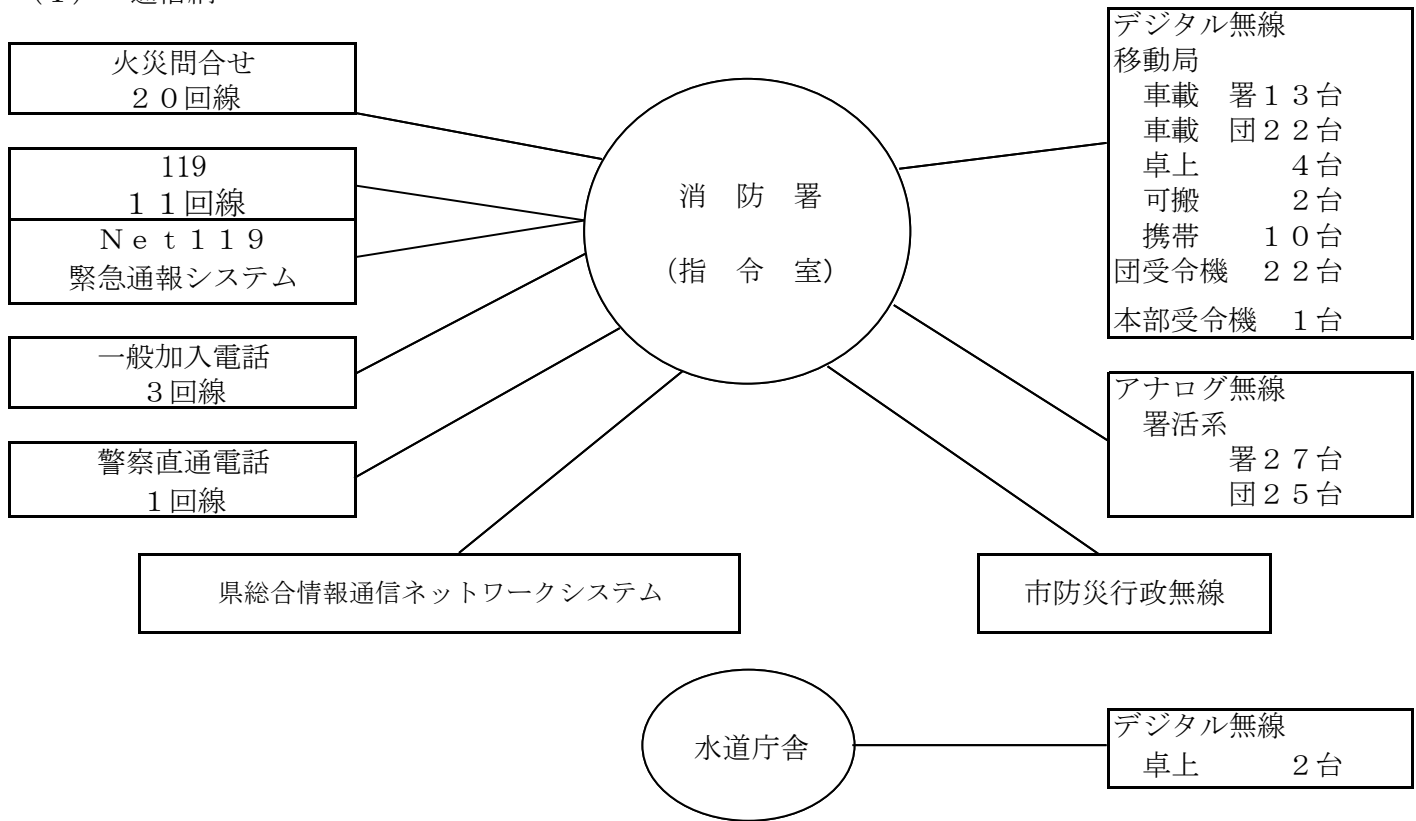
資機材名称	詳細	個数
ウレタンボート	浜口ウレタン製 4.5m×1.5m 6人乗り	1
船外機	トーハツ製 4ストローク 15馬力	1
ゴムボート	アキレス製 3.65m×1.68m 6人乗り	1
ゴムボート	アキレス製 2.8m×1.32m 5人乗り	2

3-3 救急資機材保有一覧表

	資 器 材 名	救急1号車	救急2号車	型式又は品名	メーカー名
特定行為関係	ラリングチューブ	○	○	VB-32-01-000~005	スミスメディカル
	半自動式除細動器		○	ZOLL AED Pro	ゾールメディカル
	半自動式除細動器	○		TEC-2513	日本光電
	静脈路確保用資器材一式	○	○		日本光電他
	ビデオ硬性挿管用喉頭鏡	○	○	エアウエイスコープAWS-100他	PENTAX
	気管挿管セット	○	○	WIB-9	
	血糖測定資器材一式	○	○	アキュチェックコンパクトプラス他	ロシユ他
9 項 目 関 係	救急モニター	○		ライフスコープVS	日本光電
	携帯型救急モニター		○	X Series 除細動器	ゾールメディカル
	血中酸素飽和度測定器	○		スペクトロ2	日本船舶薬品
	血中酸素飽和度測定器		○	PULSOX-1	アムコ
	喉頭鏡セット	○	○		日本メデイコ
	聴診器	○	○		
	血圧計	○		デュラショックDS58	日本船舶薬品
	血圧計	○	○	エレマーレ血圧計H55他	テルモ
	体温計	○	○		オムロン他
	自動心マッサージシステム	○	○	LUCAS2/LUCAS3	フィジオコントロール
	背板(CPRボード)	○		EMR36-0002	
	呼 吸 管 理	人工呼吸器	○		ANSWER
人工呼吸器			○	パラパック プラス 300	スミスメディカル
人工蘇生器		○	○	アンプ蘇生バッグ他	アイ・エム・アイ
酸素吸入装置		○	○	モデル301Jインハレタ2他	日本船舶薬品他
吸引器		○	○	LSU4000	レールダルメディカル
減圧弁		○	○	減圧弁 FLW2型他	日本船舶薬品他
酸素ボンベ(1.5m ³)		○	○		日本メデイコ
酸素ボンベ(0.3m ³)		○	○		日本メデイコ
搬 送 器 具	スクープストレッチャー	○	○		
	屈折式担架		○	イーバックチェアー	
	陰圧式担架・固定器具	○		オックスフード	日本船舶薬品
	陰圧式担架・固定器具		○	AS190/AS190-J	ファージヤパン
	固定具	○		モデル677ペディスリーブ	日本船舶薬品
	布担架	○	○	AE-20-13-08	日本船舶薬品
	バックボード	○	○	モデル2010,436付き他	日本船舶薬品他
	頸部固定器具	○	○	ファージロック450他	ファージヤパン
	頸椎脊椎固定搬送用具	○		FernoKED	ファージヤパン
	頭部固定用具	○		EMF02-0302	日本メデイコ
	スピードボード	○			高研
	ペイシエントシールド	○	○	モデル101255	ファージヤパン
	器 消 材 毒	ヒートシーラー			FS-315
オゾン水生成機				TT-15MDS BT-01	タムラテコ
訓練機材その他	高度救急シュミレーター 1体			LM-051AB	高研
	静脈採血注射モデルI型			LM-028	高研
	気道管理トレーナー 2体			リングアル対応	レールダル
	レサシアン 3体				レールダル
	レサシジュニア 1体				レールダル
	JAMY(成人用・小児用)各1台				ヤガミ
	リトルアン 6体				レールダル
	レスキューベビー 1体				レールダル
	AEDデモ器 5台				レールダル他
	外傷セット			EMBS00-0114A	日本メデイコ

4 消 防 通 信

(1) 通信網



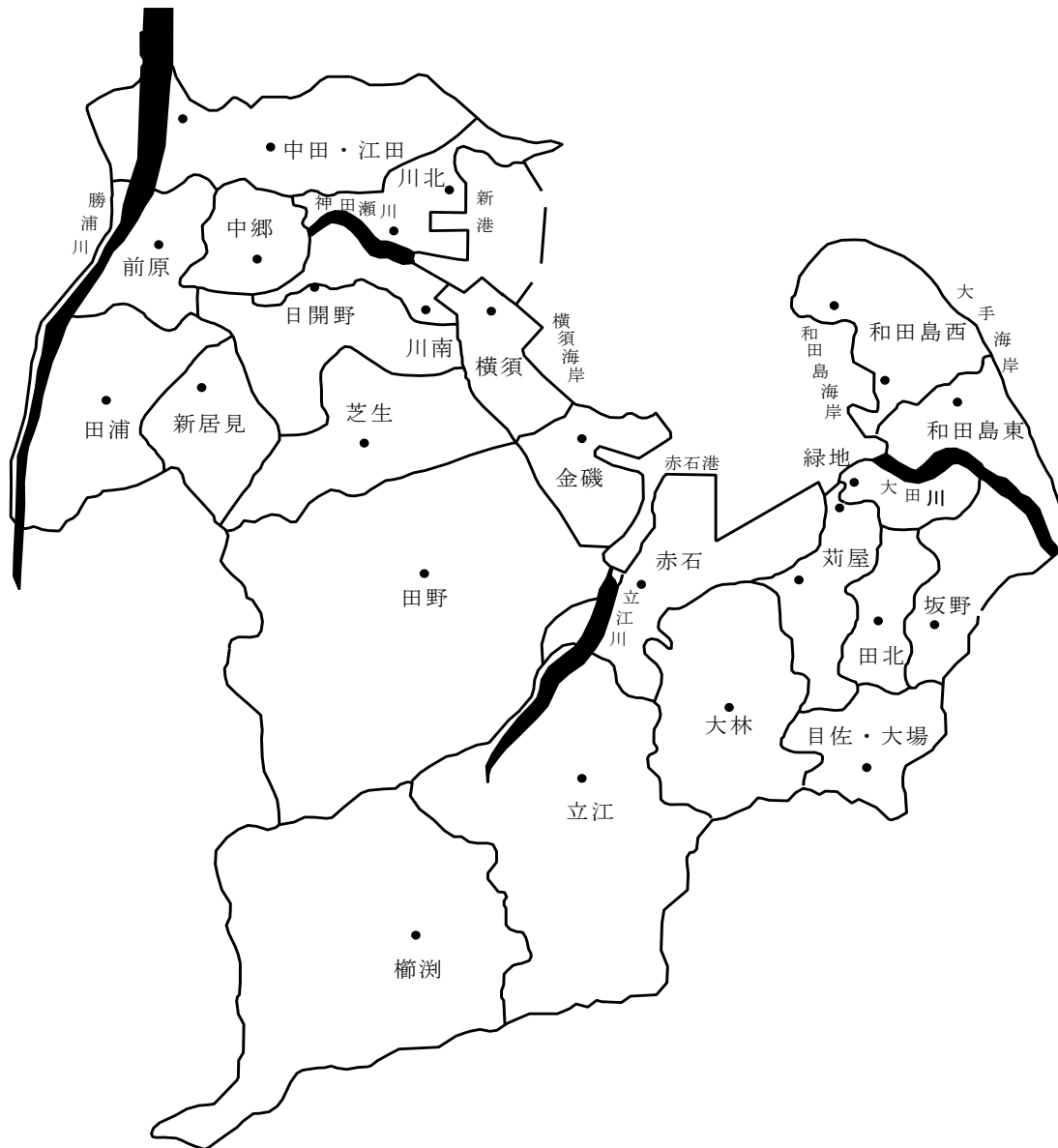
(2) デジタル無線機配置状況

局 種	呼出名称	出力 W	周波数	チャンネル	設 置 場 所	備 考
基地局	こまつましようぼう	5	デジタル	共通波・活動波	消 防 署	
卓 上	こまつましようぼう100	5	〃	〃	〃	
〃	こまつましようぼう101	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつましようぼう102	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつましようぼう103	〃	〃	〃	〃	
可 搬	こまつましようぼう104	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつましようぼう105	〃	〃	〃	〃	
卓 上	こまつましようぼう200	〃	〃	〃	水 道 庁 舎	
〃	こまつましようぼう201	〃	〃	〃	〃	
移動局	こまつましようぼう 1	〃	〃	〃	指 令 車	
〃	こまつましようぼう 2	〃	〃	〃	救 助 工 作 車	
〃	こまつましようぼう 3	〃	〃	〃	タ ン ク 車	
〃	こまつましようぼう 4	〃	〃	〃	ポ ン プ 車	
〃	こまつましようぼう 5	〃	〃	〃	化 学 車	
〃	こまつましようぼう 6	〃	〃	〃	屈折梯子付消防車	
〃	こまつましようぼう 7	〃	〃	〃	中 型 ト ラ ッ ク	
〃	こまつましようぼう 8	〃	〃	〃	防 災 活 動 車	
〃	こまつましようぼう 9	〃	〃	〃	防 災 車	
〃	こまつましようぼう 10	〃	〃	〃	防 災 車	
〃	こまつましようぼう 11	〃	〃	〃	救 助 資 機 材 搭 載 車	
〃	こまつまきゆうきゆう1	〃	〃	〃	救 急 車	
〃	こまつまきゆうきゆう2	〃	〃	〃	救 急 車	

局 種	呼出名称	出 力 W	周波数	チャンネル	設置場所	備 考
移動局	こまつしましょうぼう 20	1	デジタル	共通波・活動波	携 帯	
〃	こまつしましょうぼう 21	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 22	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 23	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 24	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 25	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 26	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 27	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 28	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼう 29	〃	〃	〃	〃	
〃	こまつしましょうぼうだん 1	5	〃	〃	川 南	
〃	こまつしましょうぼうだん 2	〃	〃	〃	前 原	
〃	こまつしましょうぼうだん 3	〃	〃	〃	芝 生	
〃	こまつしましょうぼうだん 4	〃	〃	〃	金 磯	
〃	こまつしましょうぼうだん 5	〃	〃	〃	田 浦	
〃	こまつしましょうぼうだん 6	〃	〃	〃	田 野	
〃	こまつしましょうぼうだん 7	〃	〃	〃	中 郷	
〃	こまつしましょうぼうだん 8	〃	〃	〃	中田・江田	
〃	こまつしましょうぼうだん 9	〃	〃	〃	日 開 野	
〃	こまつしましょうぼうだん 11	〃	〃	〃	新 居 見	
〃	こまつしましょうぼうだん 12	〃	〃	〃	川 北	
〃	こまつしましょうぼうだん 13	〃	〃	〃	横 須	
〃	こまつしましょうぼうだん 14	〃	〃	〃	立 江	
〃	こまつしましょうぼうだん 15	〃	〃	〃	櫛 渕	
〃	こまつしましょうぼうだん 16	〃	〃	〃	赤 石	
〃	こまつしましょうぼうだん 18	〃	〃	〃	大 林	
〃	こまつしましょうぼうだん 19	〃	〃	〃	苧 屋	
〃	こまつしましょうぼうだん 20	〃	〃	〃	和田島 東	
〃	こまつしましょうぼうだん 21	〃	〃	〃	田 北	
〃	こまつしましょうぼうだん 22	〃	〃	〃	大場・目佐	
〃	こまつしましょうぼうだん 23	〃	〃	〃	坂 野	
〃	こまつしましょうぼうだん 25	〃	〃	〃	和田島 西	

署活系無線（アナログ） 消防署 27台 消防団 25台
消防団受令機 各消防団詰所 22台 本部 1台

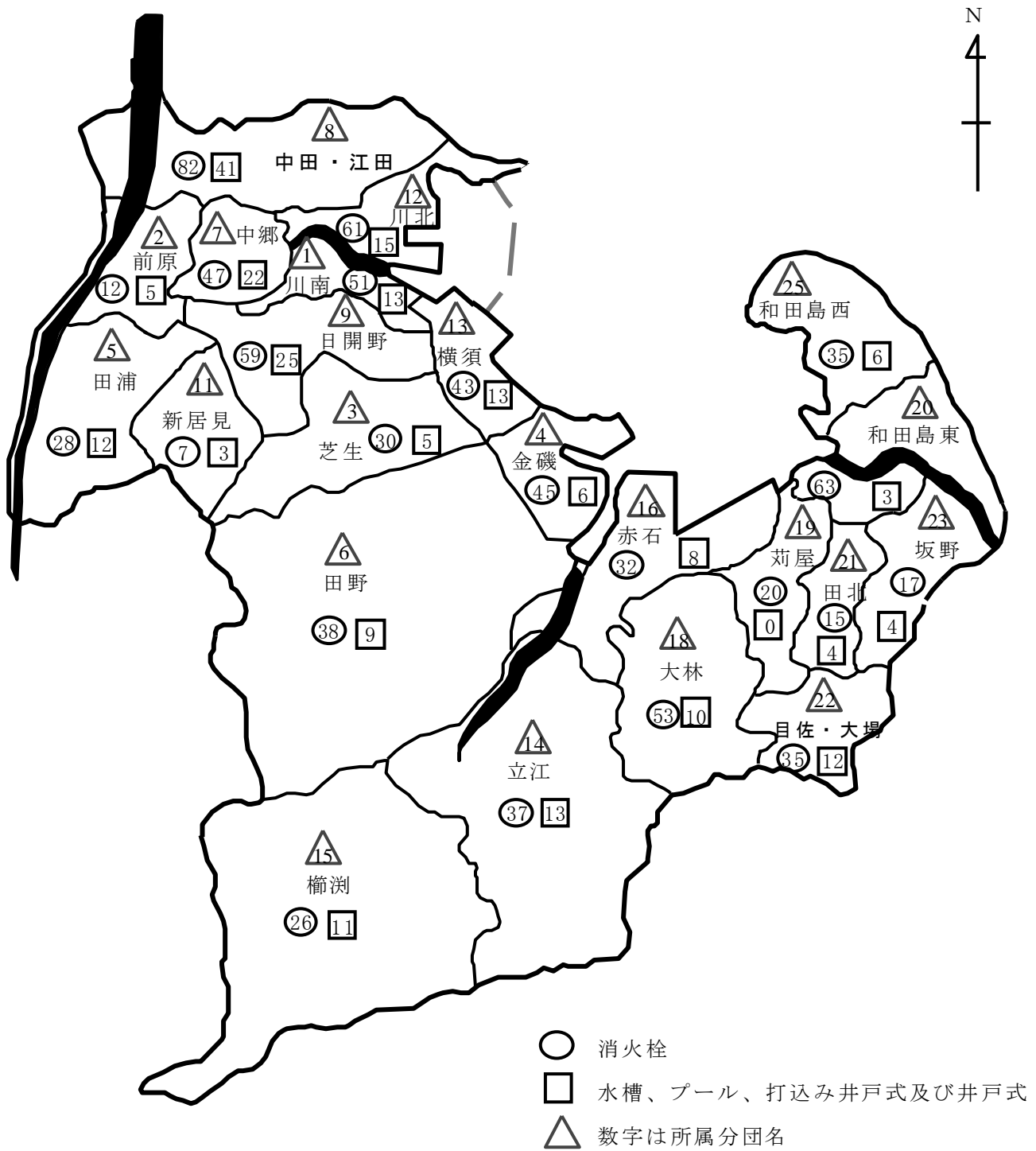
(3) サイレン・スピーカーの設置場所



(4) サイレン消防信号

信号別	サイレンの鳴らし方			サイレン音
	吹鳴時間	停止時間	繰返時間	
火 災	5 秒	6 秒	7 回	5 秒吹鳴  6 秒休止 ※ 7 回繰り返し
山林火災	1 0 秒	2 秒	5 回	1 0 秒吹鳴  2 秒休止 ※ 5 回繰り返し
津波警報	5 秒	6 秒	7 回	5 秒吹鳴  6 秒休止 ※ 7 回繰り返し
避難信号	6 0 秒	5 秒	5 回	6 0 秒吹鳴  5 秒休止 ※ 5 回繰り返し
演習召集	1 5 秒	6 秒	3 回	1 5 秒吹鳴  6 秒休止 ※ 3 回繰り返し
試 験	5 秒	—	1 回	5 秒吹鳴 

5 地区別消防用水利配置状況



6 地区別消防用水利配置状況

(令和3年4月1日現在)

地区別	区分	消 火 栓	防 火 水 槽 60m ³ 以上	防 火 水 槽 40m ³	防 火 水 槽 20m ³	防 火 水 槽 10m ³	打 込 井 戸 式	井 戸 式	池	ブ ル	計	備 考
川南	51	1	3	1	2	4			2	64		
前原	12					4	1			17		
芝生	30		3			2				35		
金磯	45					5	1			51		
田浦	28				1	7	3		1	40		
田野	38		4	3			1		1	47		
中郷	47		4	1		11	6			69		
中田・江田	82		6		1	21	9		4	123		
日開野	59					21	3		1	84		
新居見	7					2	1			10		
川北	61		5	1		7	1		1	76		
横須	43		1			11	1			56		
立江	37		5	6			1		1	50		
櫛渕	26		1	8			1		1	37		
赤石	32	1	3	1			2		1	40		
大林	53		6	1		2			1	63		
苧屋	20									20		
和田島東	63			1			1		1	66		
田北	15			2		2				19		
目佐・大場	35		3			3	6			47		
坂野	17			1		1	2			21		
和田島西	35		5				1			41		
合計	836	2	49	26	4	103	41		15	1,076		

7 気象通報発表状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

区分		月別回数												計	
		1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月		
注 意 報	大 雨							14		9	13				36
	大 雪														
	風 雪		1										2		3
	雷	13	7	12	9	15	30	99	41	55	14	4	2		301
	強 風	22	18	32	35	7	13	35	1	28	30	10	16		247
	波 浪	14		1	5		8			14	13				55
	融 雪														
	洪 水							2		3	2				7
	高 潮									11					11
	濃 霧					2	7	2							11
	乾 燥	3	11	11	36	3								20	84
	雪 崩														
	低 温														
	霜			7											7
	着 水														
	着 雪														
津 波															
計	52	37	63	85	27	58	152	42	120	72	14	40		762	

警 報	暴 風 雪														
	大 雨							4		5	7				16
	洪 水														
	暴 風														
	大 雪														
	波 浪									12					12
	高 潮														
	津 波														
	大 津 波														
	計								4		17	7			28

8 月別気象状況

(令和2年1月1日～令和2年12月31日)

月別	区分	天 気				降 雨 量 (mm)	平均 (風速・気温・湿度)			風速・風向		湿 度	
		晴 (回)	曇 (回)	雨 (回)	雪 (回)		平 均 風 速 (m)	平 均 気 温 (℃)	平 均 湿 度 (%)	最 大 風 速 (m)	最 大 風 速 の 風 向	最 低 湿 度 (%)	最 低 湿 度 の 風 向
1月		107	54	26	0	42	3.95	10.3	52.6	16	西北西	19	北西
2月		103	57	14	0	13.5	3.8	9.8	49	12	北西	17	北北西
3月		102	63	21	0	30	3.68	12.2	56.6	13	北	15	北北西
4月		143	24	13	0	52.5	5.87	14.7	46.4	18	北	15	北北西
5月		102	65	19	0	65	3.3	21.2	60.9	10	北東	19	北北西
6月		88	74	18	0	87	2.87	25	68.3	12	南南東	21	北東
7月		62	85	39	0	332	2.77	26.5	78.4	8	北西	47	北北西
8月		165	20	1	0	20	2.65	30	62.1	9	南	38	北西
9月		75	82	23	0	281	3.68	25.8	64.9	18	南	24	北北西
10月		120	41	25	0	378	3.53	19.4	59.3	9	北北西	24	北北西
11月		124	43	13	0	26	3.53	15.7	57.4	10	北西	22	北北東
12月		138	43	5	0	5	4.33	10.3	41.4	15	北北西	19	北西
計		1,329	651	217	0	1,331							
備 考	天気、風、温度、湿度は、毎日朝8時から4時間間隔で、6回観測し記録したもので、観測時毎の状態を回数で集計したものである。なお、1ヶ月の合計数値の6分の1が日数である。												

予 防

1 防火対象物一覧表

(令和3年3月31日現在)

用 途 区 分		防火対象物数	
1	イ	劇場・映画館・演劇場・観覧場	5
	ロ	公会堂・集会場	22
2	イ	キャバレー・カフェー・ナイトクラブ等	
	ロ	遊技場・ダンスホール	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等	
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	2
3	イ	待合・料理店等	6
	ロ	飲食店	36
4		百貨店・マーケットその他物品販売店舗	89
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	9
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	289
6	イ	病院・診療所・助産所	28
	ロ	老人短期入所施設・養護老人ホーム福祉施設・知的障害児施設等	19
	ハ	老人デイサービスセンター・保育所等	27
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9
7		小中高等学校・中等学校・高等専門学校等	33
8		図書館・博物館・美術館等	
9	イ	公衆浴場のうち、蒸気浴場・熱気浴場	
	ロ	イに掲げる公衆浴場以外の公衆浴場	3
10		車両の停車場・船舶又は航空機の発着場	1
11		神社・寺院・教会等	12
12	イ	工場・作業場	159
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ	
13	イ	自動車車庫・駐車場	1
	ロ	飛行機又は回転翼航空機の格納庫	4
14		倉庫	149
15		前各項に該当しない事業所	129
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	147
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	36
16の2		地下街	
16の3		準地下街	
17		重要文化財・重要民俗資料等	
		計	1,220

2 中高層防火対象物一覧表

(令和3年3月31日現在)

用途区分		階 層											
		計	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
1	イ	劇場・映画館・観覧場	2	2									
	ロ	公会堂・集会場											
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等											
	ロ	遊技場・ダンスホール											
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等											
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等											
3	イ	待合・料理店等	3	2		1							
	ロ	飲食店											
4		百貨店・マーケット・展示場等	1	1									
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	3	1		2							
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	30	17	8	1				2	2		
6	イ	病院・診療所・助産所	4	3	1								
	ロ	老人短期入所施設等	6	2	2	1	1						
	ハ	老人デイサービスセンター等											
	ニ	幼稚園・特別支援学校											
7		小中高等学校等	3	2	1								
8		図書館・博物館・美術館等											
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場											
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場											
10		車両の停車場等											
11		神社・寺院・教会等											
12	イ	工場・作業場											
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ											
13	イ	自動車車庫・駐車場											
	ロ	飛行機の格納庫											
14		倉庫											
15		前各項に該当しない事業所	10	8	1		1						
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	15	12	2				1				
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	3	2	1								
		計	80	52	16	5	2		1	2	2		

3 甲種防火対象物防火管理者選任状況

(令和3年3月31日現在)

用途区分		項目	防火管理設置 義務対象物数	選任届出数	消防計画届出 済対象物数
1	イ	劇場・映画館・観覧場	5	5	5
	ロ	公会堂・集会場	16	15	15
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	5	5
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	2	1	1
3	イ	待合・料理店等	3	3	3
	ロ	飲食店	7	7	7
4		百貨店・マーケット・展示場等	49	46	46
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	8	9	9
	ロ	寄宿舍・下宿・共同住宅	21	17	14
6	イ	病院・診療所・助産所	10	10	10
	ロ	老人短期入所施設等	17	17	17
	ハ	老人デイサービスセンター等	11	12	12
	ニ	幼稚園・特別支援学校	6	6	6
7		小中高等学校等	27	27	27
8		図書館・博物館・美術館等			
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	1	1	1
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会等	1	1	1
12	イ	工場・作業場	22	21	21
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場	1	1	1
	ロ	飛行機の格納庫	4	4	4
14		倉庫	3	3	2
15		前各項に該当しない事業所	28	25	22
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途 防火対象物	40	33	32
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	7	7	6
計			294	276	267

4 乙種防火対象物防火管理者選任状況

(令和3年3月31日現在)

用途区分		項目	防火管理設置 義務対象物数	選任届出数	消防計画届出 済対象物数
1	イ	劇場・映画館・観覧場			
	ロ	公会堂・集会場	6	4	4
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等			
	ロ	遊技場・ダンスホール			
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等			
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等			
3	イ	待合・料理店等	2	1	2
	ロ	飲食店	20	18	16
4		百貨店・マーケット・展示場等	10	4	4
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これ らに類するもの			
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅			
6	イ	病院・診療所・助産所			
	ロ	老人短期入所施設等			
	ハ	老人デイサービスセンター等	5	5	5
	ニ	幼稚園・特別支援学校	3	3	3
7		小中高等学校等	1	1	1
8		図書館・博物館・美術館等			
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場			
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場			
10		車両の停車場等			
11		神社・寺院・教会等	1	1	1
12	イ	工場・作業場	4	4	4
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ			
13	イ	自動車車庫・駐車場			
	ロ	飛行機の格納庫			
14		倉庫			
15		前各項に該当しない事業所	10	10	10
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途 防火対象物	4	4	4
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物			
計			66	55	54

5 用途別による消防用設備等設置状況

(令和3年3月31日現在)

用途区分		項目	防火対象物数	屋内消火栓設備	スプリンクラー設備	屋外消火栓設備	自動火災報知設備	非常警報設備	動力ポンプ	誘導灯	避難器具	自家発電設備	連結送水管
1	イ	劇場・映画館・観覧場	5	4			4			5		5	
	ロ	公会堂・集会場	22	1			15	5		21	1		
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等											
	ロ	遊技場・ダンスホール	5	3			5			5	2	2	
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等											
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等	2				1			1			
3	イ	待合・料理店等	6				3	2		6	2	1	
	ロ	飲食店	36				9	21		32	2		
4		百貨店・マーケット・展示場等	89	5	5		47	21		78	2	8	
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	9	1			8			8	3		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅	289	2			31	45		6	76	1	4
6	イ	病院・診療所・助産所	28	3	4		14	3		27	6	3	1
	ロ	老人短期入所施設等	19	1	17		18			19	9	6	1
	ハ	老人デイサービスセンター等	27			1	11	5		24	2		
	ニ	幼稚園・特別支援学校	9	1		1	4	3		6	3	1	
7		小中高等学校等	33	13		1	20	3		23	16	2	1
8		図書館・博物館・美術館等											
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場											
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場	3				1			1			
10		車両の停車場等	1										
11		神社・寺院・教会等	12				1	4		2	1		
12	イ	工場・作業場	159	17		24	74	3	2	21	5	1	
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ											
13	イ	自動車車庫・駐車場	1				1						
	ロ	飛行機の格納庫	4	4			4				1	1	
14		倉庫	149	7		7	46			7		1	
15		前各項に該当しない事業所	129	13		1	39	15		47	6	7	1
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物	147	7	9	2	55	17		97	17	5	1
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物	36	2		1	9	5		12	5	1	
計			1,220	84	35	37	420	152	2	448	159	45	9

6 建築同意統計状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

用途区分		月別													
		計	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
1	イ	劇場・映画館・観覧場													
	ロ	公会堂・集会場													
2	イ	キャバレー・ナイトクラブ等													
	ロ	遊技場・ダンスホール													
	ハ	性風俗関連特殊営業を営む店舗等													
	ニ	カラオケボックス・個室ビデオ等													
3	イ	待合・料理店等													
	ロ	飲食店	2			1							1		
4		百貨店・マーケット・展示場等	5	1	1	1	2								
5	イ	旅館・ホテル・宿泊所その他これらに類するもの	3			1		1					1		
	ロ	寄宿舎・下宿・共同住宅													
6	イ	病院・診療所・助産所	2				1	1							
	ロ	老人短期入所施設等													
	ハ	老人デイサービスセンター等	1							1					
	ニ	幼稚園・特別支援学校													
7		小中高等学校等													
8		図書館・博物館・美術館等													
9	イ	蒸気浴場・熱気浴場													
	ロ	イに掲げる以外の公衆浴場													
10		車両の停車場等													
11		神社・寺院・教会等													
12	イ	工場・作業場													
	ロ	映画スタジオ・テレビスタジオ													
13	イ	自動車車庫・駐車場													
	ロ	飛行機の格納庫													
14		倉庫	2		1				1						
15		前各項に該当しない事業所	5	2	1			2							
16	イ	特定防火対象物が存する複合用途防火対象物													
	ロ	上記以外の複合用途防火対象物													
		住 宅 等	13	2	1			2	1	1	4	1		1	
		計	33	5	4	3	3	6	2	2	4	1	2	1	0

7 築造別同意事務処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

申請要旨	同 意		小 計	不同意	総 計
	指導無し	指導有り			
新 築	11	18	29		29
増 築	2	2	4		4
改 築					
移 転					
修 繕					
模様替え					
用途変更					
そ の 他					
合 計	13	20	33		33

8 申請別同意事務処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区 分	件 数
確 認 申 請	33
許 可 申 請	4
計 画 通 知	
返 却	
合 計	37

9 各種届出状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

届出の種類		件数
消防関係	防火管理者選(解)任届	51
	消防計画作成(変更)届	78
	共同防火管理協議事項届	
	圧縮アセチレンガス等の貯蔵・取扱届	4
	危険物保安監督者選(解)任届	27
	消防用設備等着工届	18
	消防用設備等設置届	66
	消防用設備等点検結果報告	233
	計	477

届出の種類		件数
火災予防関係	防火対象物使用開始届	12
	炉・ボイラー・厨房設備等設置届	10
	変電・発電・蓄電池設備設置届	19
	水素ガスを充てんする気球の設置届	
	火災と紛らわしい行為等の届出	212
	煙火打ち上げ・仕掛け届	28
	催物開催届	
	露店等の開設届	3
	水道の断水・減水届	
	道路工事届	93
	少量危険物貯蔵取扱届	4
	指定可燃物貯蔵届	1
	少量危険物・指定可燃物廃止届	3
計	385	

10 危険物施設一覧表

(令和3年3月31日現在)

製造所等の別数	総計	製造所	貯蔵所								取扱所					事業所数	
			小計	屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	小計	給油取扱所	販売取扱所		一般取扱所		移送取扱所
													第一種	第二種			
	168		112	18	39		32	21		2	56	31	2		23		59

1 1 危険物関係各種事務処理状況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分 種別	製 造 所	貯 蔵 所							取 扱 所				そ の 他	計	
		屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	移 動 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取 扱 所	販 売 取扱所		一 般 取 扱 所			移 送 取 扱 所
										第 一 種	第 二 種				
設 置 許 可												1			1
変 更 許 可			1		1				4			2			8
完 成 検 査 (設 置)															
完 成 検 査 (変 更)			1		1				3			1			6
水 圧 検 査															
水 張 検 査															
仮 貯 蔵 ・ 仮 取 扱														42	42
仮 使 用					1				3						4
除 外 届															
廃 止 届					2							3			5
品名・数量の倍数変更届			1												1
軽微な変更工事に届			1						8						9

1 2 危険物保安監督者を必要とする施設数

(令和3年3月31日現在)

区分 施設数	計	危 険 物 施 設													
		製 造 所	貯 蔵 所						取 扱 所					移 送 取 扱 所	
			屋 内 貯 蔵 所	屋 外 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 内 タ ン ク 貯 蔵 所	地 下 タ ン ク 貯 蔵 所	簡 易 タ ン ク 貯 蔵 所	屋 外 貯 蔵 所	給 油 取扱所		第 一 種 販 売 取 扱 所	第 二 種 販 売 取 扱 所	一 般 取 扱 所		
営 業 用	自 家 用 他	小 口 詰 替 専 用	そ の 他												
危険物保安監督者	107		15	39		10		1	13	18	2		1	8	

1.3 倍数及び類別危険物施設状況

(令和3年3月31日現在)

製造所等の区分 項目	製造所	貯蔵所						取扱所				合計			
		屋内貯蔵所	屋外タンク貯蔵所	屋内タンク貯蔵所	地下タンク貯蔵所	簡易タンク貯蔵所	移動タンク貯蔵所	屋外貯蔵所	給油取扱所		販売取扱所		一般取扱所	移送取扱所	
									営業用	自家用他種	第一種				第二種
計		18	39		32		21	2	13	18	2		23	168	
5倍以下		10	9		20		11			2			10	62	
5倍を超え10倍以下		4	4		4		3	1		3			6	25	
10"～50"		2	9		4		5			12	2		4	38	
50"～100"		2	4		1		2	1	1	1			1	13	
100"～150"			2		1				3				1	7	
150"～200"					2				1					3	
200"～1000"			7						7					14	
1000"～5000"			4						1				1	6	
5000"～10000"															
第1類															
第2類															
第3類															
第4類		16	39		32		20	2	13	18	2		23	165	
第6類							1							1	
混在		2												2	

1 4 消 防 手 数 料 徴 収 状 況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

	危 険 物 関 係												消 防 用 設 備 等		そ の 他 の 証 明		合 計							
	設 置 許 可		変 更 許 可		完 成 検 査		変 更 完 成 検 査		水 圧 検 査		水 張 検 査		仮 使 用		仮 貯 取 蔵 扱		検 査 証 明		そ の 他 の 証 明		合 計			
	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額	件 数	金 額
4月			1	13,000			1	6,500			4	24,000	1	5,400	2	10,800							9	59,700
5月										3	18,000				3	16,200							6	34,200
6月										4	24,000				2	10,800							6	34,800
7月			1	19,500						2	12,000				2	10,800							5	42,300
8月			1	33,000			1	9,750					1	5,400	3	16,200							6	64,350
9月	1	39,000	1	13,000			1	16,500			3	18,000			4	21,600							10	108,100
10月			1	26,000			1	6,500			1	6,000	1	5,400	5	27,000	3	1,050					12	71,950
11月							1	13,000			3	18,000			8	43,200							12	74,200
12月										2	12,000				1	5,400							3	17,400
1月										2	12,000				3	16,200							5	28,200
2月			2	52,000			1	13,000			1	6,000	1	5,400	4	21,600	1	350					10	98,350
3月			1	38,500			1	19,250							5	27,000	1	350					8	85,100
計	1	39,000	8	195,000	7	84,500	25	150,000	4	21,600	42	226,800	5	1,750	92	718,650								

1 5 防火クラブ結成状況

少年消防クラブ

(令和3年4月1日現在)

クラブ名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
小松島少年消防クラブ	S55.4.1	58	学校	小松島小学校区
坂野少年消防クラブ	S55.4.1	44	学校	坂野小学校区

婦人防火クラブ

クラブ名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
ひさご婦人消防クラブ	S46.11.25	30	地域	中郷町
和田島地区婦人防火クラブ	S55.4.1	45	地域	和田島町

幼年消防クラブ

クラブ名称	結成年月日	クラブ員数	組織単位	行政区
南小松島幼稚園	S62.12.1	26	幼稚園	南小松島町
小松島幼稚園	S62.12.1	休園中	幼稚園	小松島町
立江幼稚園	S62.12.1	6	幼稚園	立江町
千代幼稚園	S62.12.1	休園中	幼稚園	中田町
芝田幼稚園	S62.12.1	休園中	幼稚園	田野町
坂野幼稚園	S62.12.1	休園中	幼稚園	坂野町
県前保育所	S62.12.1	24	保育所	中郷町
泰地保育所	S61.2.1	76	保育所	中郷町
立江保育所	S61.2.1	36	保育所	立江町
横須保育所	S61.2.1	70	保育所	横須町
和田島保育所	S61.2.1	8	保育所	和田島町
目佐保育所	S61.2.1	休園中	保育所	坂野町
こまつしま健祥会認定こども園	H19.4.1	123	認定こども園	小松島町
さかの認定こども園	H28.4.1	63	認定こども園	坂野町
花しんぱり子ども園	H28.4.1	125	認定こども園	大林町
こやす認定こども園	H29.4.1	103	認定こども園	田浦町

1 6 自主防災組織結成状況

(令和3年4月1日現在)

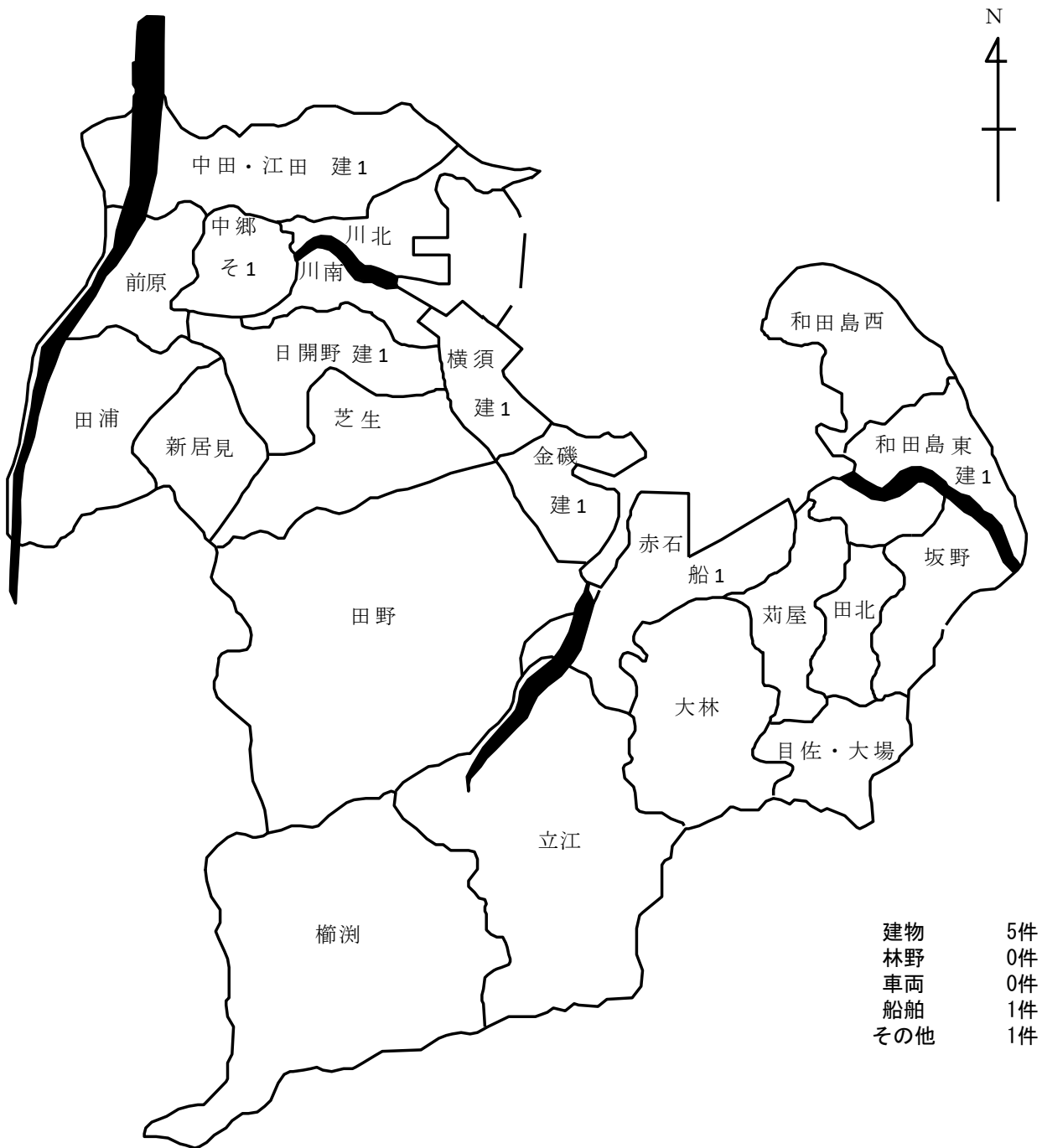
分団区域名	自主防災組織名称	結成年月日
前 原	前 原 地 区 自 主 防 災 会	H19.9.14
芝 生	芝 生 自 主 防 災 会	H16.8.1
金 磯	金 磯 南 地 区 自 主 防 災 会	H23.6.26
	金 磯 町 自 主 防 災 会	H23.7.20
田 浦	田 浦 町 自 主 防 災 会	H16.5.12
田 野	田 野 地 域 防 災 連 絡 協 議 会	H24.4.1
中 郷	中 郷 北 地 区 自 主 防 災 会	H24.11.19
中 田 ・ 江 田	江 田 町 自 主 防 災 会	H17.3.3
	中 田 東 自 主 防 災 会	H17.5.30
日 開 野	日 開 野 町 西 地 区 自 主 防 災 会	H17.7.1
新 居 見	新 居 見 地 区 自 主 防 災 会	H21.1.17
川 北	元 根 井 地 区 自 主 防 災 会	H19.11.1
	鳳 栄 町 町 内 会 自 主 防 災 会	H21.4.12
横 須	横 須 町 自 主 防 災 会	H17.7.17
立 江	立 江 自 主 防 災 会	H19.12.2
櫛 淵	櫛 淵 地 区 自 主 防 災 会	H19.9.28
赤 石	第 1 6 分 団 地 区 自 主 防 災 会	H18.11.15
大 林	大 林 地 区 自 主 防 災 会	H19.5.19
苅 屋	苅 屋 ・ 和 田 津 開 地 区 自 主 防 災 会	H18.11.17
和 田 島 東	小 松 島 ニュータウン自治会自主防災会	H16.4.1
	春 日 自 主 防 災 会	H18.4.1
田 北	坂 野 町 田 北 地 区 自 主 防 災 会	H18.10.20
目 佐 ・ 大 場	目 佐 ・ 大 場 地 区 自 主 防 災 会	H19.9.21
坂 野	坂 野 自 主 防 災 会	H18.11.1
和 田 島 西	和 田 島 み さ き 自 主 防 災 会	H17.4.9

1 覚知別件数及び火災の実態

覚知方法	火災報知専用電話 (携帯電話)	事後聞知	火災報知専用電話 (固定電話/加入除く)	火災報知専用電話 (固定電話/加入)	加入電話 (固定電話)	加入電話 (携帯電話)	その他 (自己覚知)	合計
件数	3	3	0	0	0	0	1	7

区分 項別		単位	令和2年 (a)	平成31年 (b)	増減 (a-b)	
		火災件数	計	件	7	16
火災件数		建物	件	5	5	0
		林野	件	0	0	0
		車両	件	0	3	-3
		船舶	件	1	0	1
		その他	件	1	8	-7
		計	棟	5	5	0
焼損棟数		全焼	棟	0	1	-1
		半焼	棟	0	1	-1
		部分焼	棟	2	0	2
		ぼや	棟	3	3	0
建物		焼損床面積	m ²	0	468.9	-468.9
		焼損表面積	m ²	11.91	0	11.91
林野焼損面積 (a)		アール	0	0	0	
損害		千円	1,453	32,160	-30,707	
死傷者	死者	48時間	人	0	1	-1
		30日	人	0	0	0
	傷者	人	1	4	-3	
被災世帯		計	世帯	3	3	0
		全損	世帯	0	0	0
		半損	世帯	0	1	-1
		小損	世帯	3	2	1
被災人員		人	5	5	0	

2 地区別火災発生状況



3 月 別 火 災 発 生 件 数 損 害 額

(単位:千円)

月別	種別	建 物		林 野		車両・船舶・その他		合 計		死 傷 者	
	件数・損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	死	傷
1 月		1	3					1	3		
2 月		1	4					1	4		
3 月						1	0	1	0		1
4 月						1	517	1	517		
5 月		1	17					1	17		
6 月		1	907					1	907		
7 月											
8 月		1	5					1	5		
9 月											
10 月											
11 月											
12 月											
計		5	936	0	0	2	517	7	1,453	0	1

6 火元・用途別・原因別火災件数

用途別	原因別	合計	たばこ	放火(疑いを含む)	ライター	こたき	たき火	枯草焼	火遊び	焼却炉	風呂かまど	ストーブ	内燃機	電機機器	配線器具	溶接器	火のついたゴミ	その他	不明
	総計		7			1	1									1			2
住宅	戸建住宅	1													1				
	共同住宅	1																1	
	併用住宅																		
店舗		1				1													
工場・作業場		1																	1
倉庫																			
納屋・物置																			
車庫																			
病院																			
福祉施設		1			1														
学校																			
駅舎																			
神社・仏閣																			
体育館																			
事務所																			
複合用途(特)																			
複合用途(非)																			
その他の建物																			
車両																			
林野																			
空家																			
船舶		1																1	
その他		1																	1

7 週・時間別火災発生件数

時間別		週時間別							
時間別	火災回数 回数	月	火	水	木	金	土	日	不明
0～1									
1～2									
2～3									
3～4									
4～5									
5～6									
6～7									
7～8									
8～9	1		1						
9～10	1				1				
10～11									
11～12									
12～13									
13～14									
14～15	1					1			
15～16									
16～17	1				1				
17～18	1		1						
18～19	1							1	
19～20									
20～21									
21～22									
22～23									
23～24	1		1						
不明									
合計	7		3		2	1		1	

8 過去5年間火災状況

(単位：千円)

種別 年別 件数・損害額	建 物		林 野		車両・船舶・その他		死 傷 者		合 計	
	件数	損害額	件数	損害額	件数	損害額	死	傷	件数	損害額
平成28年	4	60,165			6	0	2	1	10	60,165
平成29年	8	16,875			9	572	2	2	17	17,447
平成30年	6	46,813			10	4,572	0	2	16	51,385
令和元年	5	23,407			11	8,753	1	4	16	32,160
令和2年	5	936			2	517	0	1	7	1,453
計	28	148,196	0	0	38	14,414	5	10	66	162,610

救 急 救 助

1 救急出場状況（事故種別・年齢別・覚知別）

事故種別 覚知	取扱種別	出場 件数	傷 病者 搬 送 件 数	搬送人員			傷（症）病程度別								不 搬 送
							軽症		中等症		重症		死亡		
				男	女	計	男	女	男	女	男	女	男	女	
火災事故		1	1	1	0	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0
自然災害		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
水難		1	1	0	1	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0
交通		154	134	77	68	145	54	50	14	15	8	3	1	0	20
労働災害		19	19	17	2	19	11	2	4	0	1	0	1	0	0
運動競技		22	22	23	1	24	13	0	10	0	0	1	0	0	0
一般負傷		250	232	98	136	234	63	70	31	63	4	3	0	0	18
加害		3	2	1	1	2	1	1	0	0	0	0	0	0	1
自損行為		18	14	4	10	14	2	4	0	2	1	3	1	1	4
急病		1,025	960	502	459	961	232	231	180	160	69	59	21	9	65
その他	転院搬送	178	177	84	93	177	12	22	42	47	30	24	0	0	1
	医師搬送	0													
	資機材輸送	0													
	その他	35	1	0	1	1	0	0	0	1	0	0	0	0	34
	合計	1,706	1,563	807	772	1,579	388	381	282	288	113	93	24	10	143
年齢区分	新生児	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	
	乳幼児	36	35	19	18	37	14	16	5	1	0	1	0	0	
	少年	44	41	21	22	43	12	17	5	4	3	1	1	0	
	成人	487	442	251	200	451	147	134	74	52	28	13	2	1	
	高齢者	1,124	1,045	516	532	1,048	215	214	198	231	82	78	21	9	
	不明	15													
	合計	1,706	1,563	807	772	1,579	388	381	282	288	113	93	24	10	
覚知別	専用電話	1,585	1,453	備考											
	警察電話	14	11												
	加入電話	81	75												
	駆け込み	15	14												
	自己覚知	0	0												
	無線等その他	11	10												
	合計	1,706	1,563												

備考 年齢区分欄

新生児とは、生後28日以内の者をいう。
 乳幼児とは、生後29日以上満7才未満の者をいう。
 少年とは、満7才以上満18才未満の者をいう。
 成人とは、満18才以上満65才未満の者をいう。
 高齢者とは、満65才以上の者をいう。

2 地区別救急事故発生件数

事故種別 地区別	火 災	自然 災害	水 難	交 通	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他	合 計
間 新 田	0	0	0	0	0	0	5	0	0	13	0	18
赤 石	0	0	0	2	1	0	14	0	0	48	13	78
江 田	0	0	0	8	1	0	6	0	0	16	33	64
大 林	0	0	0	18	0	0	7	1	0	53	59	138
金 磯	0	0	0	6	2	0	10	0	2	55	14	89
神 田 瀬	0	0	0	2	0	0	5	0	0	26	3	36
櫛 漕	0	0	0	5	0	0	3	0	0	22	0	30
小 松 島	0	0	0	19	3	0	28	1	3	117	25	196
坂 野	0	0	0	10	0	0	17	0	1	52	8	88
芝 生	0	0	0	8	3	0	10	0	2	23	1	47
田 浦	0	0	0	6	0	0	13	0	1	40	14	74
立 江	0	0	0	7	0	1	8	0	0	42	5	63
田 野	0	0	0	5	1	0	4	0	1	39	1	51
中 田	0	0	0	8	1	0	38	1	0	115	13	176
豊 浦	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
中 郷	0	0	0	13	0	0	15	0	2	82	3	115
新 居 見	0	0	0	0	0	0	2	0	0	8	0	10
日 開 野	1	0	0	15	0	1	14	0	0	60	3	94
堀 川	0	0	0	3	0	0	1	0	0	6	2	12
前 原	0	0	0	3	0	0	3	0	0	8	1	15
松 島	0	0	0	2	0	0	2	0	0	13	8	25
南 小 松 島	0	0	0	1	2	0	4	0	1	18	0	26
横 須	0	0	0	6	2	19	19	0	4	88	7	145
和 田 島	0	0	1	7	3	1	20	0	1	78	0	111
和 田 津 開	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
そ の 他	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	2
合 計	1	0	1	154	19	22	250	3	18	1,025	213	1,706

3 事故発生時間状況（事故種別・曜日別）

4 年齢性別状況

事故種別 時間別		事故種別発生時間表											週時間表						年齢性別表							
		火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他	合計	日	月	火	水	木	金	土	性別 年齢別	男	女	計		
0~1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	3	26	4	43	7	7	8	4	9	5	3			
1~2	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	2	0	0	28	1	34	4	6	3	4	7	3	7	22	24	46
2~3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	0	1	23	3	32	4	0	6	2	7	4	9			
3~4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3	0	0	27	1	31	4	5	3	5	8	4	2	27	23	50
4~5	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	3	0	0	23	3	31	6	5	8	0	5	2	5			
5~6	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	6	0	1	27	3	39	8	5	4	4	6	7	5	30	38	68
6~7	0	0	0	7	0	0	0	0	0	0	11	0	1	40	2	61	5	14	7	11	15	5	4			
7~8	0	0	0	12	1	0	0	0	0	0	12	0	1	48	4	78	14	12	8	11	10	14	9	48	33	81
8~9	1	0	0	12	2	0	0	0	0	0	9	0	1	56	7	88	11	19	13	19	11	7	8			
9~10	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	12	0	1	67	11	101	25	15	14	16	13	8	10	59	57	116
10~11	0	0	0	7	5	2	0	0	0	0	16	0	0	51	18	99	9	15	18	19	15	15	8			
11~12	0	0	0	10	3	4	0	0	0	0	17	0	2	54	25	115	15	22	13	19	17	17	12	64	42	106
12~13	0	0	0	5	2	5	0	0	0	0	11	0	0	59	22	104	13	12	12	20	17	16	14			
13~14	0	0	0	13	1	4	0	0	0	0	18	0	0	50	19	106	15	12	10	16	14	19	20	122	66	188
14~15	0	0	0	7	0	1	0	0	0	0	4	0	0	46	19	77	10	8	6	12	15	15	11			
15~16	0	0	0	10	0	4	0	0	0	0	17	0	0	34	15	80	12	8	12	12	12	15	9	202	165	367
16~17	0	0	0	13	2	2	0	0	0	0	16	0	1	44	9	87	10	12	14	10	13	21	7			
17~18	0	0	0	13	0	0	0	0	0	0	21	0	0	49	17	100	17	18	8	11	13	23	10	233	324	557
18~19	0	0	0	8	0	0	0	0	0	0	18	0	0	55	8	89	9	7	18	17	15	13	10			
19~20	0	0	0	9	1	0	0	0	0	0	11	0	2	56	6	86	12	12	11	14	12	11	14			
20~21	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	9	0	0	55	6	74	9	10	10	11	9	9	16			
21~22	0	0	0	3	0	0	0	0	0	0	6	0	0	42	5	56	7	9	7	9	8	7	9			
22~23	0	0	0	4	1	0	0	0	0	0	6	0	3	36	5	55	8	4	9	8	8	7	11			
23~24	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	7	0	1	29	0	40	3	9	5	7	7	2	7	807	772	1,579
合計	1	0	1	154	19	22	250	3	18	1,025	213	1,706	237	246	227	261	266	249	220							

5 搬送人員状況 (曜日別・月別)

事故種別 区分	火災	自然災害	水難	交通	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	病急	その他	計
日	0	0	0	14	1	3	39	0	0	155	11	223
月	0	0	0	15	4	2	31	1	1	149	26	229
火	1	0	0	26	2	0	35	0	2	127	22	215
水	0	0	0	21	2	5	35	0	5	141	28	237
木	0	0	0	24	4	5	35	0	3	148	30	249
金	0	0	1	26	4	2	32	0	1	137	28	231
土	0	0	0	19	2	7	27	1	2	104	33	195
計	1	0	1	145	19	24	234	2	14	961	178	1,579
1月	0	0	1	12	1	6	20	0	3	82	21	146
2月	1	0	0	9	1	10	29	0	1	89	21	161
3月	0	0	0	11	2	0	17	1	2	82	11	126
4月	0	0	0	8	1	3	11	0	1	68	15	107
5月	0	0	0	6	2	2	22	0	1	71	12	116
6月	0	0	0	11	0	1	9	0	0	73	9	103
7月	0	0	0	20	1	1	28	1	1	73	13	138
8月	0	0	0	5	2	0	18	0	2	98	13	138
9月	0	0	0	8	4	0	27	0	1	76	8	124
10月	0	0	0	23	2	0	16	0	0	83	9	133
11月	0	0	0	16	1	1	12	0	1	82	16	129
12月	0	0	0	16	2	0	25	0	1	84	30	158

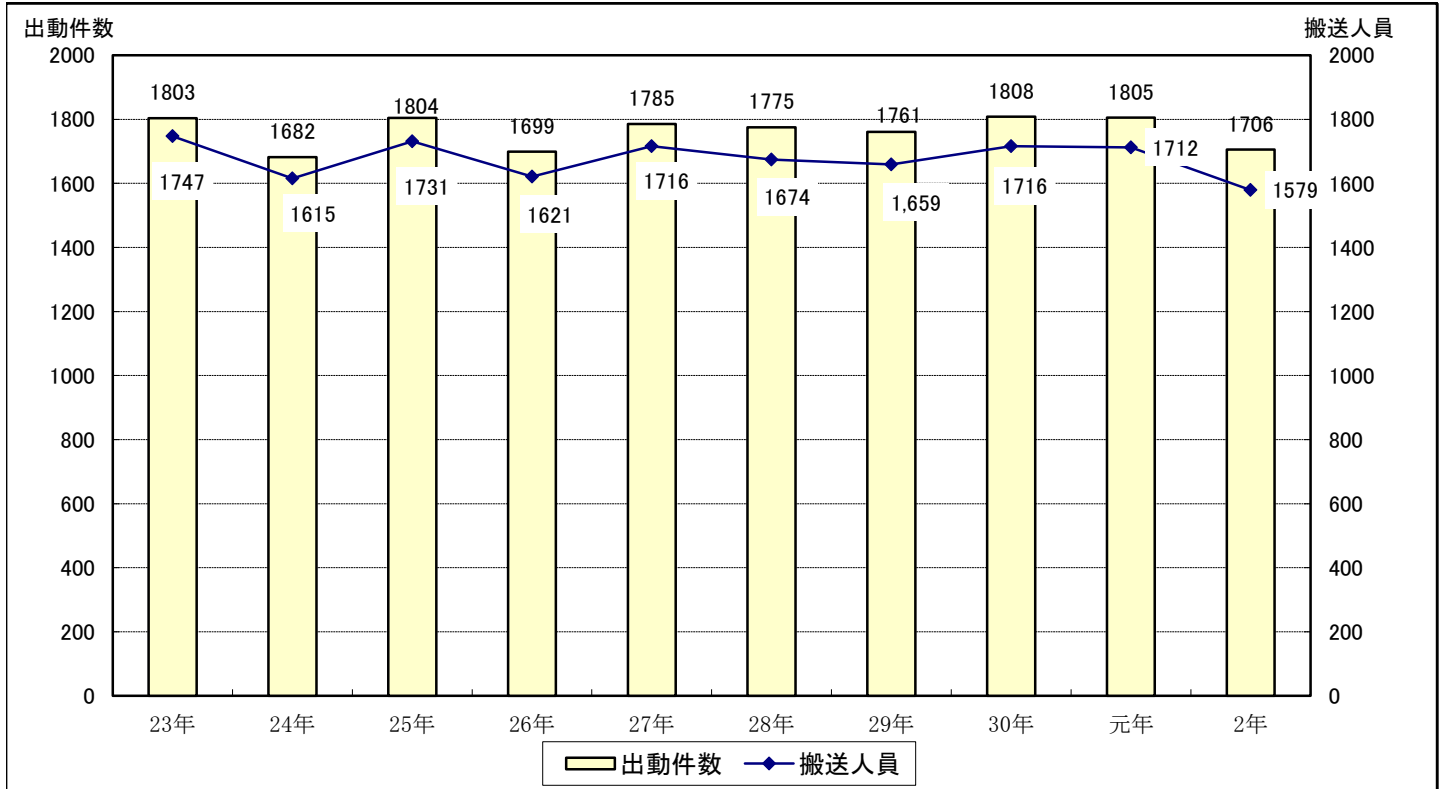
6 年別応急手当普及啓発活動状況

年別	区分	普通救命講習			その他の講習			合 計		
		講習回数	受講人員	派遣職員数	講習回数	受講人員	派遣職員数	講習回数	受講人員	派遣職員数
平成28年		11	71	25	1	20	5	12	91	30
平成29年		13	114	36	1	10	3	14	124	39
平成30年		12	101	30	1	13	3	13	114	33
令和元年		11	84	28	1	15	3	12	99	31
令和2年		4	16	9	3	189	10	7	205	19

7 救助出動状況

区分	出動件数	活動件数	出動人員	活動人員	救助人員
事故種別					
火 災					
交 通 事 故	8	5	46	29	5
水 難 事 故					
風水害等自然災害					
機械による事故					
建物等による事故					
ガス及び酸欠事故					
破 裂 事 故					
その他の事故	1	1	12	12	1
合 計	9	6	58	41	6

8 10年間の出動件数及び搬送人員



9 5年間の救助活動状況

年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
出動件数	10	14	22	12	9
救助人員	4	11	9	6	6

消 防 団

1 消 防 団 設 置 状 況

(令和3年4月1日現在)

団本部	団 長 日 下 直 樹						
	副 団 長 成 川 和 夫・大 木 茂 樹				団本部付 女性団員	実員 14	
分 団 名	地 区	分 団 長 名	実 員	分 団 名	地 区	分 団 長 名	実 員
第 1 分 団	川 南	井 内 美 樹 也	20	第 1 3 分 団	横 須	松 本 正 三	17
第 2 分 団	前 原	尾 山 功 一	18	第 1 4 分 団	立 江	上 原 勝 彦	18
第 3 分 団	芝 生	英 充 明	20	第 1 5 分 団	櫛 淵	山 田 祐 司	20
第 4 分 団	金 磯	住 村 和 則	19	第 1 6 分 団	赤 石	高 木 雄 一	17
第 5 分 団	田 浦	北 野 彰	20	第 1 8 分 団	大 林	山 城 正 彦	16
第 6 分 団	田 野	内 藤 洋 一	18	第 1 9 分 団	苅 屋	村 瀬 裕 昭	19
第 7 分 団	中 郷	荒 木 奉 文	14	第 2 0 分 団	和 田 島 東	佐 藤 重 文	20
第 8 分 団	中 田 ・ 江 田	桑 子 武 之	17	第 2 1 分 団	田 北	前 田 治 義	17
第 9 分 団	日 開 野	山 川 伸 治	20	第 2 2 分 団	目 佐 ・ 大 場	篠 原 大 地	14
第 1 1 分 団	新 居 見	福 井 芳 宏	18	第 2 3 分 団	坂 野	岡 田 宇 宙	15
第 1 2 分 団	川 北	仁 木 博 史	17	第 2 5 分 団	和 田 島 西	大 和 秀 幸	19

2 消 防 団 員 の 定 員 及 び 実 員

(令和3年4月1日現在)

階 級 別	団	副	分	副	部	班	団	計
定 員・実 員	長	長	長	長	長	長	員	
定 員	1	2	22	22	44	44	308	443
実 員	1	2	22	22	45	46	272	410

3 消防団員報酬及び費用弁償額

(報酬)

(令和3年4月1日現在)

階級別	団長	副団長	分団長	副分団長	部長	班長	団員
報酬額 (年)	75,000円	60,000円	42,000円	30,000円	24,000円	21,000円	15,000円

(費用弁償)

区分	支給単位	金額	摘要
出動	1回	2,500円	災害現場で業務に従事した者に支給する。
警戒	1回	1,200円	災害予防のため出動を命ぜられ、警戒業務に従事した者に支給する。
訓練	1回	1,200円	消防長の指揮により訓練及び研修に従事した者に支給する。

4 消防団員等公務災害補償受給状況

(令和2年4月1日現在～令和3年3月31日)

人 員			金 額 (千円)
団員 1	協力者 0	計 0	20,249
1人当たり平均受給額			20,249

5 消防団員退職者数

(令和2年4月1日現在～令和3年3月31日)

勤続 5年未満	勤続5年以上(退職報償該当)	計
1	4	5

6 消防団員退職報償金受給状況

(過去5カ年の状況)

年別	人員・金額 人 数	金 額
平成28年度	21	6,730 千円
平成29年度	25	13,283 千円
平成30年度	17	8,214 千円
令和元年度	10	4,448 千円
令和2年度	5	2,706 千円
計	78	35,381 千円
年間平均	15.6	7,076 千円
令和2年度1名当り平均受給額		541 千円

7 歴代消防団長名

初 代	自 昭和22. 9. 7 至 昭和26. 1. 15	庄 野 祐 吉
二 代	自 昭和26. 9. 22 至 昭和27. 10. 25	海 野 政 雄
三 代	自 昭和27. 10. 26 至 昭和30. 1. 24	伴 弘
四 代	自 昭和30. 1. 25 至 昭和34. 1. 25	朔 哲 雄
五 代	自 昭和34. 1. 26 至 昭和38. 2. 17	浜 誠一郎
六 代	自 昭和38. 2. 18 至 昭和56. 5. 19	小 林 甚四郎
七 代	自 昭和56. 5. 20 至 昭和59. 11. 24	平 瀬 基
八 代	自 昭和59. 12. 18 至 平成 4. 12. 17	松 宮 正 昭
九 代	自 平成 4. 12. 18 至 平成 7. 3. 6	松 富 健 次
十 代	自 平成 7. 3. 7 至 平成15. 5. 31	川 田 道 夫
十一 代	自 平成15. 6. 1 至 平成18. 1. 16	吉 田 茂
十二 代	自 平成18. 3. 1 至 平成25. 2. 28	荒 木 敏 雄
十三 代	自 平成25. 3. 1 至 令和 3. 2. 28	窪 田 頼 明
十四 代	自 令和 3. 3. 1 至 現 在	日 下 直 樹

8 分 団 別 出 動 放 水 状 況

(令和2年4月1日～令和3年3月31日)

区分 分団名	火災出動			水防出動		警戒出動		訓練出動		計	
	件数	人員	放水	件数	人員	件数	人員	件数	人員	件数	人員
団本部	3	11	0	7	21	2	4	4	12	16	48
第1分団	1	8	0	7	46	0	0	3	20	11	74
第2分団	2	7	0	7	34	0	0	3	20	12	61
第3分団	1	7	0	7	47	0	0	3	20	11	74
第4分団	1	11	0	7	36	0	0	3	20	11	67
第5分団	2	5	0	7	40	0	0	3	20	12	65
第6分団	1	7	0	7	38	0	0	3	20	11	65
第7分団	2	9	0	7	48	0	0	3	20	12	77
第8分団	2	22	1	7	45	0	0	3	20	12	87
第9分団	1	13	0	7	37	0	0	3	20	11	70
第11分団	2	3	0	7	44	0	0	3	20	12	67
第12分団	2	20	1	9	79	0	0	3	20	14	119
第13分団	1	13	1	7	39	0	0	3	20	11	72
第14分団	1	14	1	7	35	2	23	3	20	13	92
第15分団	1	16	1	7	38	1	10	4	40	13	104
第16分団	1	13	1	9	74	2	36	3	20	15	143
第18分団	1	12	1	7	37	0	0	3	20	11	69
第19分団	0	0	0	7	27	0	0	3	20	10	47
第20分団	0	0	0	9	77	1	5	3	20	13	102
第21分団	0	0	0	7	27	0	0	3	20	10	47
第22分団	0	0	0	7	33	0	0	3	20	10	53
第23分団	0	0	0	7	31	0	0	3	20	10	51
第25分団	0	0	0	9	78	1	15	3	20	13	113
計	25	191	7	169	1,011	9	93	71	472	274	1,767

9 在職年数別消防団員数

(令和3年4月1日現在)

在職年数別 分団名	計	5年以上		10年以上		15年以上		20年以上		25年以上		30年以上
		5年未満	10年未満	15年未満	20年未満	25年未満	30年未満					
団本部	17	2	3	6	3	1	1	1				
第1分団	20	6	5	3	4	1	1	0				
第2分団	18	0	2	3	6	4	3	0				
第3分団	20	1	8	6	1	2	2	0				
第4分団	19	3	4	3	5	1	2	1				
第5分団	20	4	3	6	6	1	0	0				
第6分団	18	0	4	4	5	1	3	1				
第7分団	14	6	3	1	2	0	0	2				
第8分団	17	4	1	4	2	5	1	0				
第9分団	20	4	4	3	4	2	1	2				
第11分団	18	2	2	4	2	5	0	3				
第12分団	17	3	4	3	1	4	0	2				
第13分団	17	4	2	7	1	2	1	0				
第14分団	18	4	3	1	1	1	7	1				
第15分団	20	4	6	4	4	1	1	0				
第16分団	17	1	2	4	6	2	2	0				
第18分団	16	2	1	2	0	2	5	4				
第19分団	19	4	3	1	7	4	0	0				
第20分団	20	5	2	3	2	7	1	0				
第21分団	17	5	1	3	4	3	1	0				
第22分団	14	2	4	5	1	1	0	1				
第23分団	15	5	1	0	2	7	0	0				
第25分団	19	2	7	2	5	1	1	1				
合計	410	73	75	78	74	58	33	19				
平均在職年数											12.6年	

10 年齢別・階級別消防団員数

(令和3年4月1日現在)

区分 年齢別	小計		団 長	副 団 長	分 団 長	副分団長	部 長	班 長	団 員
		うち女性							
18 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
19 歳	3	0	0	0	0	0	0	0	3
20 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
21 歳	1	0	0	0	0	0	0	0	1
22 歳	6	1	0	0	0	0	0	0	6
23 歳	4	2	0	0	0	0	0	0	4
24 歳	0	0	0	0	0	0	0	0	0
25 歳	7	0	0	0	0	0	0	0	7
26 歳	4	0	0	0	0	0	0	0	4
27 歳	4	1	0	0	0	0	0	0	4
28 歳	5	0	0	0	0	0	0	0	5
29 歳	5	0	0	0	0	0	0	0	5
30 歳	7	1	0	0	0	0	0	1	6
31 歳	6	2	0	0	0	0	0	1	5
32 歳	9	1	0	0	0	0	0	0	9
33 歳	8	2	0	0	0	0	0	0	8
34 歳	15	0	0	0	0	0	0	1	14
35 歳	10	1	0	0	0	0	0	0	10
36 歳	7	0	0	0	0	0	0	0	7
37 歳	18	0	0	0	0	0	2	4	12
38 歳	10	0	0	0	0	1	1	1	7
39 歳	24	3	0	0	0	1	2	2	19
40 歳	13	0	0	0	0	0	0	2	11
41 歳	24	2	0	0	0	0	1	4	19
42 歳	15	1	0	0	0	0	3	2	10
43 歳	20	0	0	0	0	2	1	5	12
44 歳	20	0	0	0	1	0	0	2	17
45 歳	19	0	0	0	0	1	3	1	14
46 歳	19	0	0	0	2	0	3	3	11
47 歳	17	0	0	0	1	2	2	4	8
48 歳	15	0	0	0	2	1	3	2	7
49 歳	15	0	0	0	1	2	2	3	7
50 歳	12	0	0	0	2	0	2	1	7
51 歳	9	0	0	0	1	0	6	1	1
52 歳	4	0	0	0	0	1	1	1	1
53 歳	15	1	0	1	2	3	3	1	5
54 歳	6	0	0	1	0	2	2	0	1
55 歳	9	0	1	0	1	2	4	0	1
56 歳	6	0	0	0	2	1	1	2	0
57 歳	4	0	0	0	1	1	1	0	1
58 歳	7	0	0	0	0	1	2	1	3
59 歳	4	0	0	0	2	1	0	1	0
60 歳	1	0	0	0	1	0	0	0	0
61 歳以上	3	0	0	0	3	0	0	0	0
合 計	410	18	1	2	22	22	45	46	272
平 均 年 齢								41.2歳	